
何でもシてくれちゃうイチャラブハーレム！
Let

♥フルカラーコミック♥



いちゃラブハーレム！

世話好き幼馴染と美人な同僚が
僕に何でもシてくれるから…




社会人になり
引っ越してから数ヶ月―


今日も夜遅く
帰宅―
寒いのは嫌いだ…
早く帰ろう…


一人暮らしの夜は
寂しいはずだったが…


ガチャ…
おかえり。
今日も寒いね
数か月前に
幼馴染(里緒)
がやってきた


…ただいま
こいつは幼い頃から
べたべたくっついて
くるようなー
バカが付くほどの
世話焼きだ…
こんなに手が
冷え切っちゃって
あったかい？
ピクッ

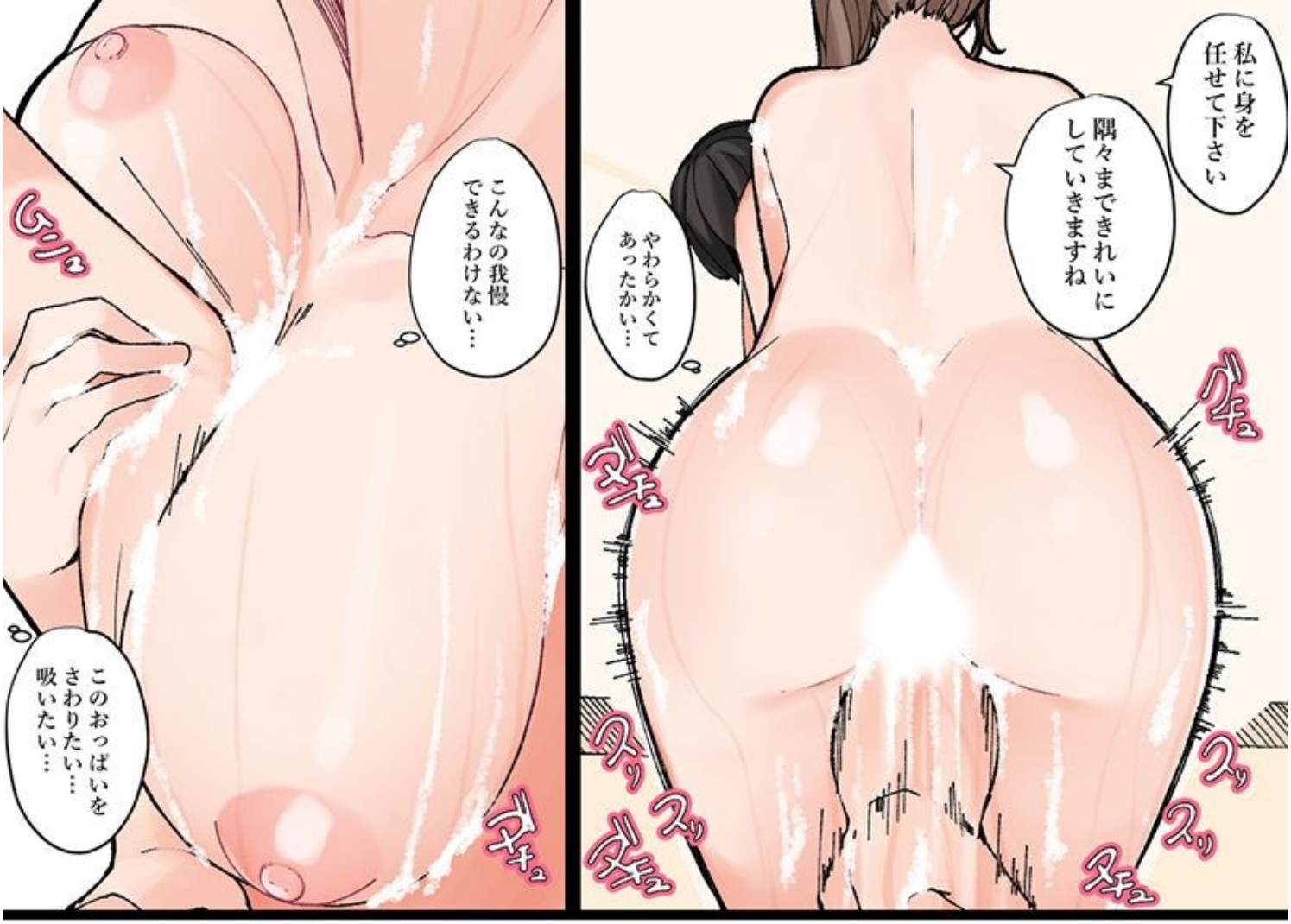

あ、そうだ!!
お風呂入る?
な…なんだよ
急に…
早く温まらないと
風邪引いちゃうかも
まぁ待てって
帰ってきた
ばかりだぞ…
いいから
いいから

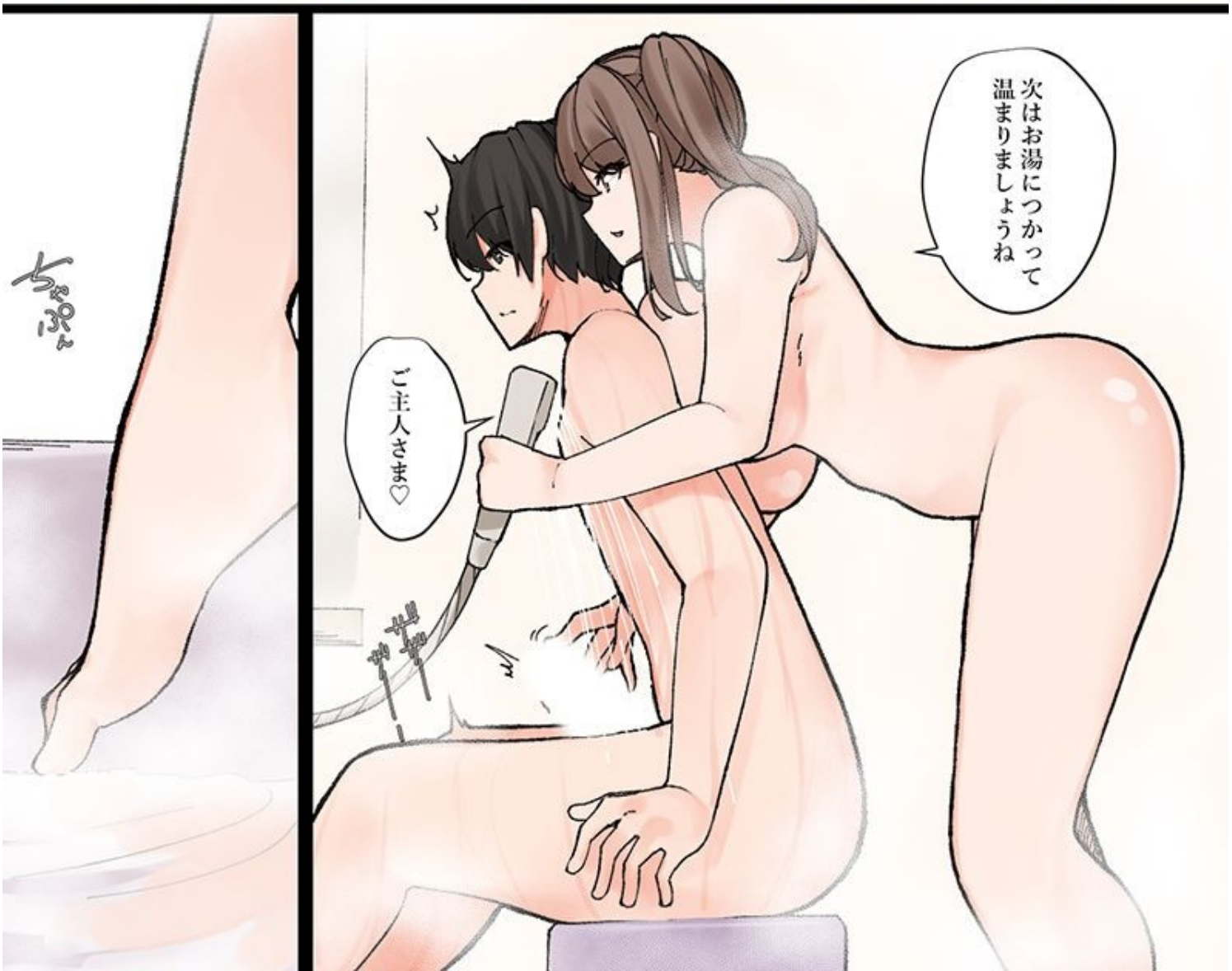

くんくん
汗のにおい…
スス…
脱がせて
あげるね
ペろ
おい…
それくらい自分で
やるって…
大丈夫
任せて
ムニ
ムニ
カチャ
カチャ
ボロン
下まで
脱がせるなって…


え？
そう？
じゃあ…
私も
プルン
ちょっ…
何でお前まで
脱ぐんだよ！
なんでって
一緒に入るからに
決まってるでしょ


ちょっと待ってねー
ん～ボディソープどこだ…
にゅん。
ぬるっ
くちゅ
ぬるっ
いいから、ご奉仕して差し上げますよご主人さま♡
自分でやるって…
はずかしい…
誰がご主人さまだ！
俺は後で入るから先にどーっ
はい。座ってください
すぅ～


ヌル
ヌル…
だから…っ
ヌチ
ヌチッ
ヌチ、
ムチュ
気持ちいいですか？
ご主人さま♡
ヌルヌルで
こっちまで
気持ちよく
なってきちゃう


私に身を任せて下さい
隅々まできれいにしていきますね
やわらかくてあったかい…
こんなの我慢できるわけない…
このおっぱいをさわりたい…吸いたい…
グチュ
グッ
スッ


次はお湯につかって温まりましょうね
ご主人さま♡
ちゃぷん


さわっていいよ♡
いっぱい吸ってほしいなぁ♡
たぷ♡

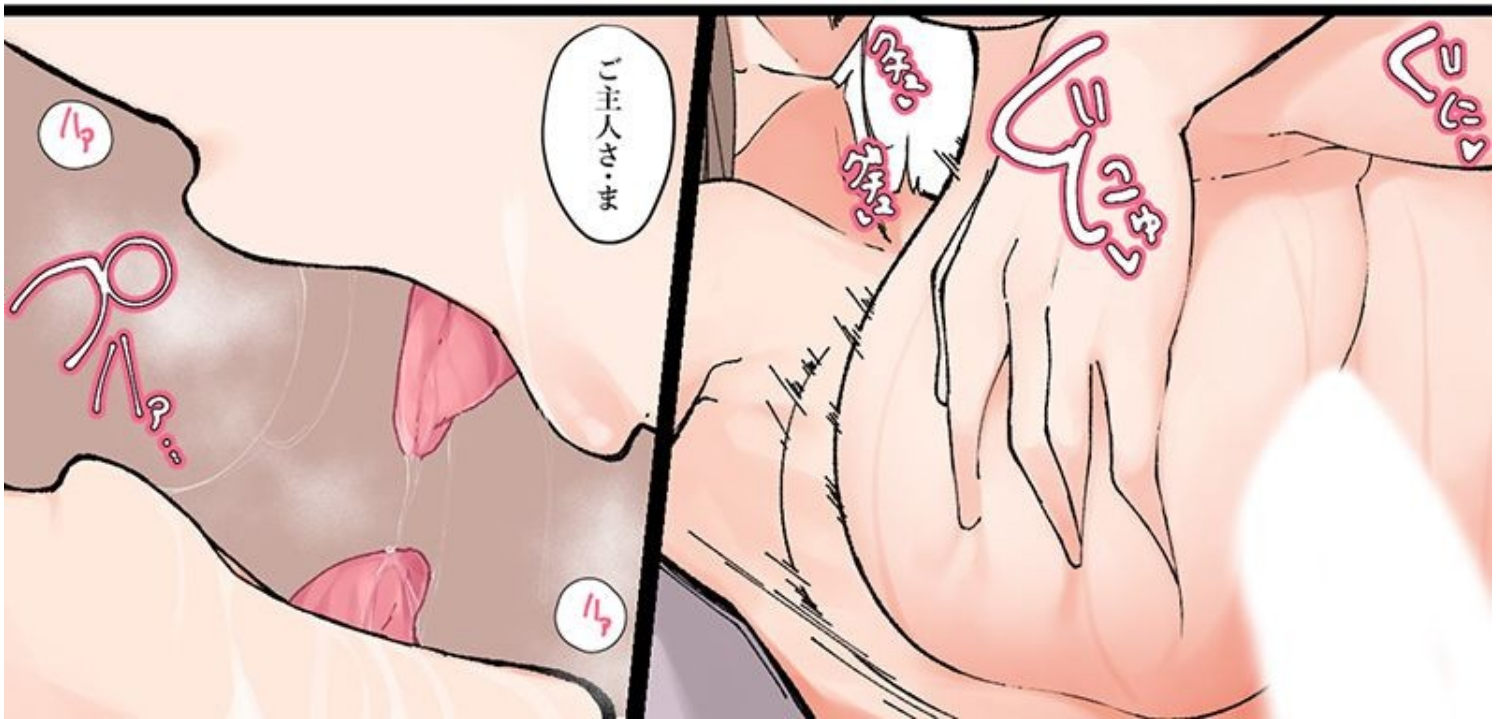

いいよ
あん♥
モミ
モミ
ご…ご主人さま。。。
私のおっぱい
どう…ですか…っ？
…はい…
ご主人さま
もっと
吸ってください
ん…
んん…
ピク


あ…
す…すまん…
仕方ないだろ…
あー。
もうこんなに
大きく
しちゃって
ペチン!
ギシ…ギシ…
しょうがない
ですね…
では―
よいしょ…
大好きなおっぱいで
挟んであげます
ギシ…
ギシ…


今からこのふわふわおっぱいでガチガチのおち○ち○が包まれていきますよ♡
プルン
んっ…じ…焦らされると…
ムニ
ムニ
まずは先っぽを―
どうですか？ここ…声が出ないほど気持ちいいですか？ご主人さま♡
ボヨン
ボヨン
ボヨン
ボヨン
ボヨン
ボヨン
そんな顔したらもっとご奉仕してあげたくなっちゃう―


おっぱいで挟まれてるだけなのに身体の力が抜ける…
温かいおっぱいの重圧が気持ちいい……
だめだ…イきそぅ…
まだですよ！まだイっちゃだめですからね
あっ
んんっ!!


私の事忘れられない
くらいこの温もりを
感じてもらわないと♡


ご主人さ・ま


そんなに強くされると…イっちゃう…からっ…!!
パチン
パチン
パチン
パチン
待って!! ちょっと!!
だめですやめませんよ♡
イっ!!
ふぅっ
いっぱい出してくれて…私のご奉仕満足してくれたみたいね
とろ〜
ヒクヒク

翌日―

はぁ～

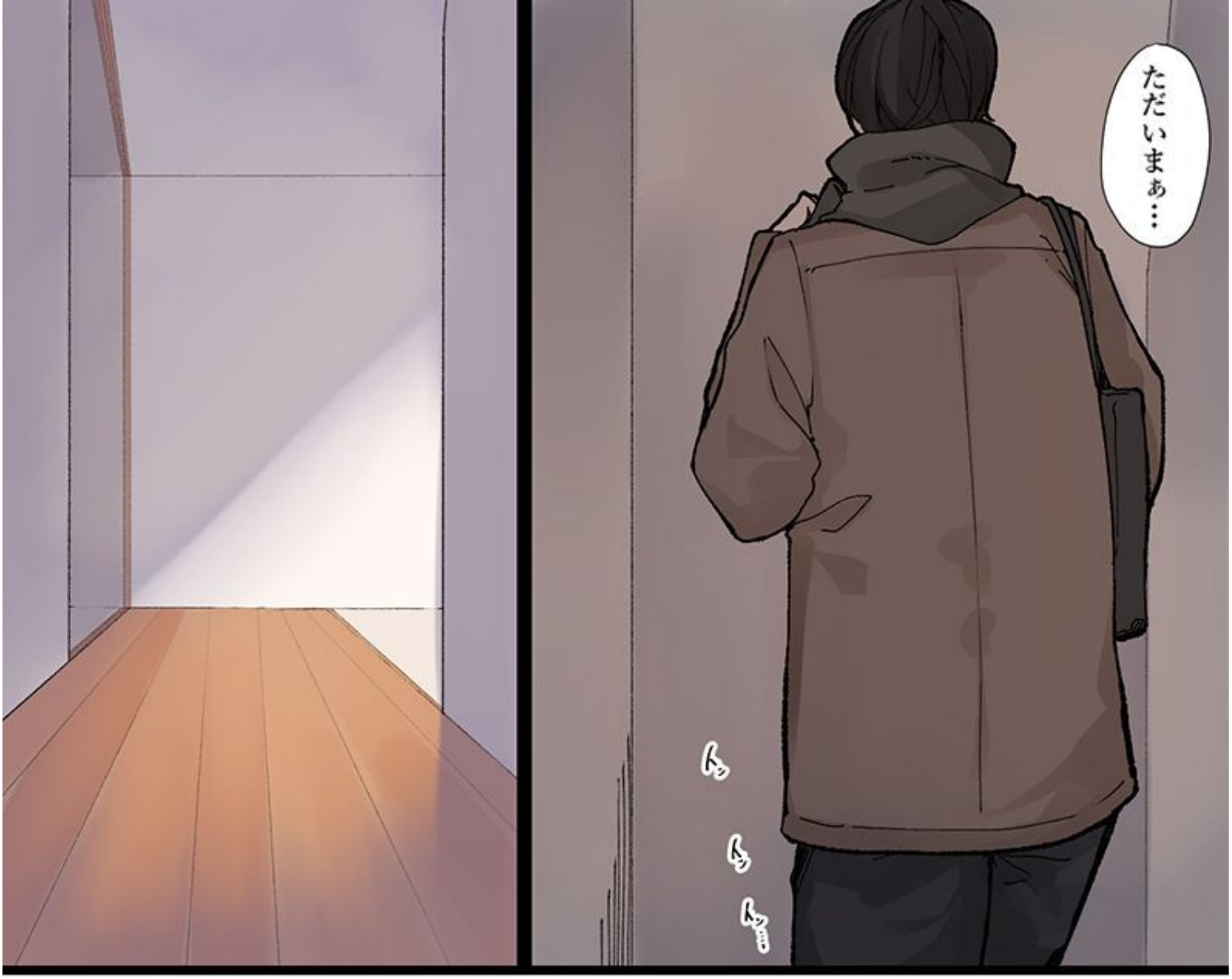
今日はいつも
以上に疲れたなぁ…
腹も減ったぁ～



あいつ…―
まだいるのかな…

ハァ～

急用ができて
帰っちゃってる
とか…


ただいまぁ…
トッ
トッ
トッ…


ガチャ
ガチャ

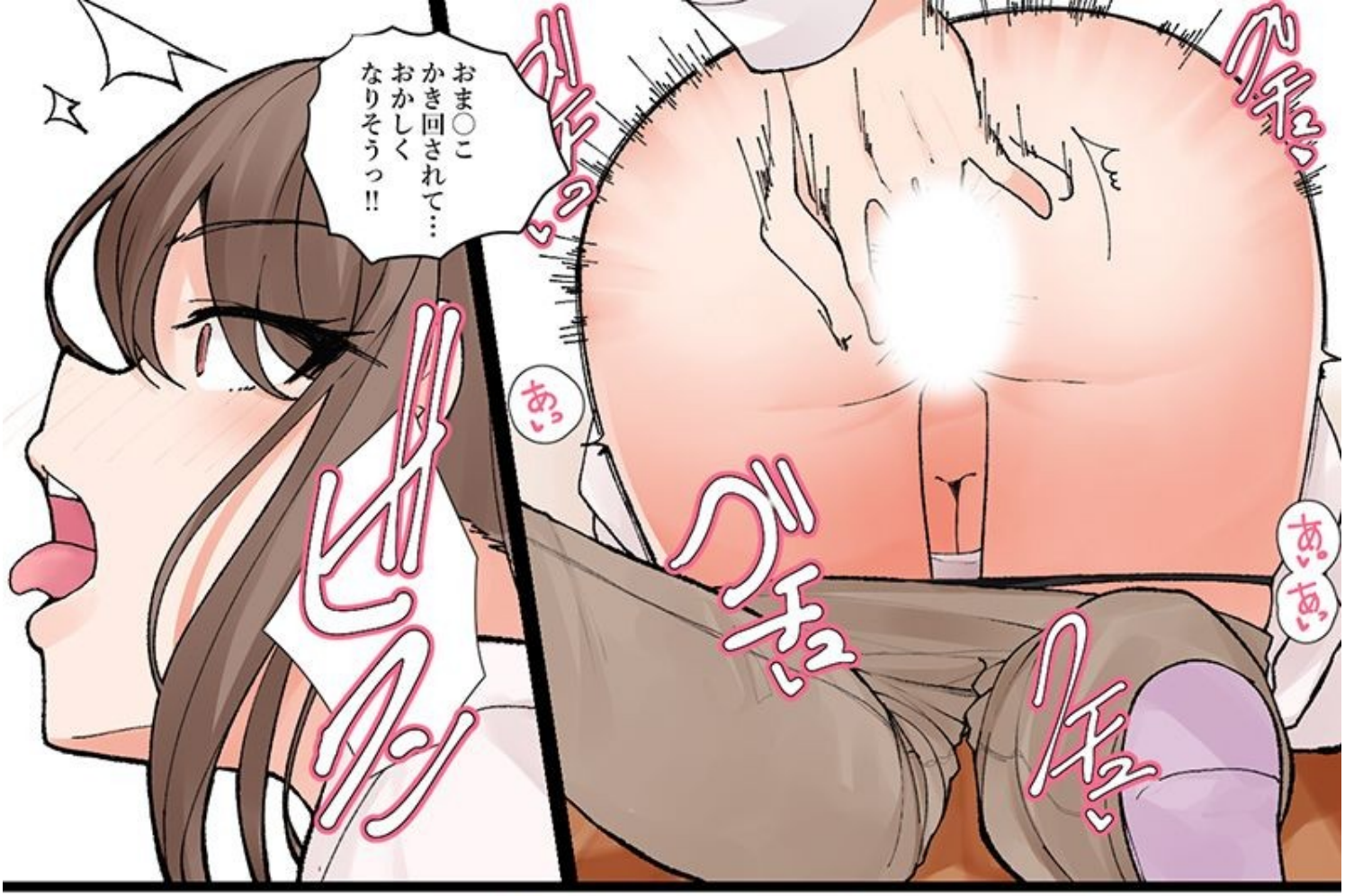

おかえりー♡
ごめんね
夕飯の準備
してて手が
離せなかったの
あ…あぁ…
ただいま
ほっ…

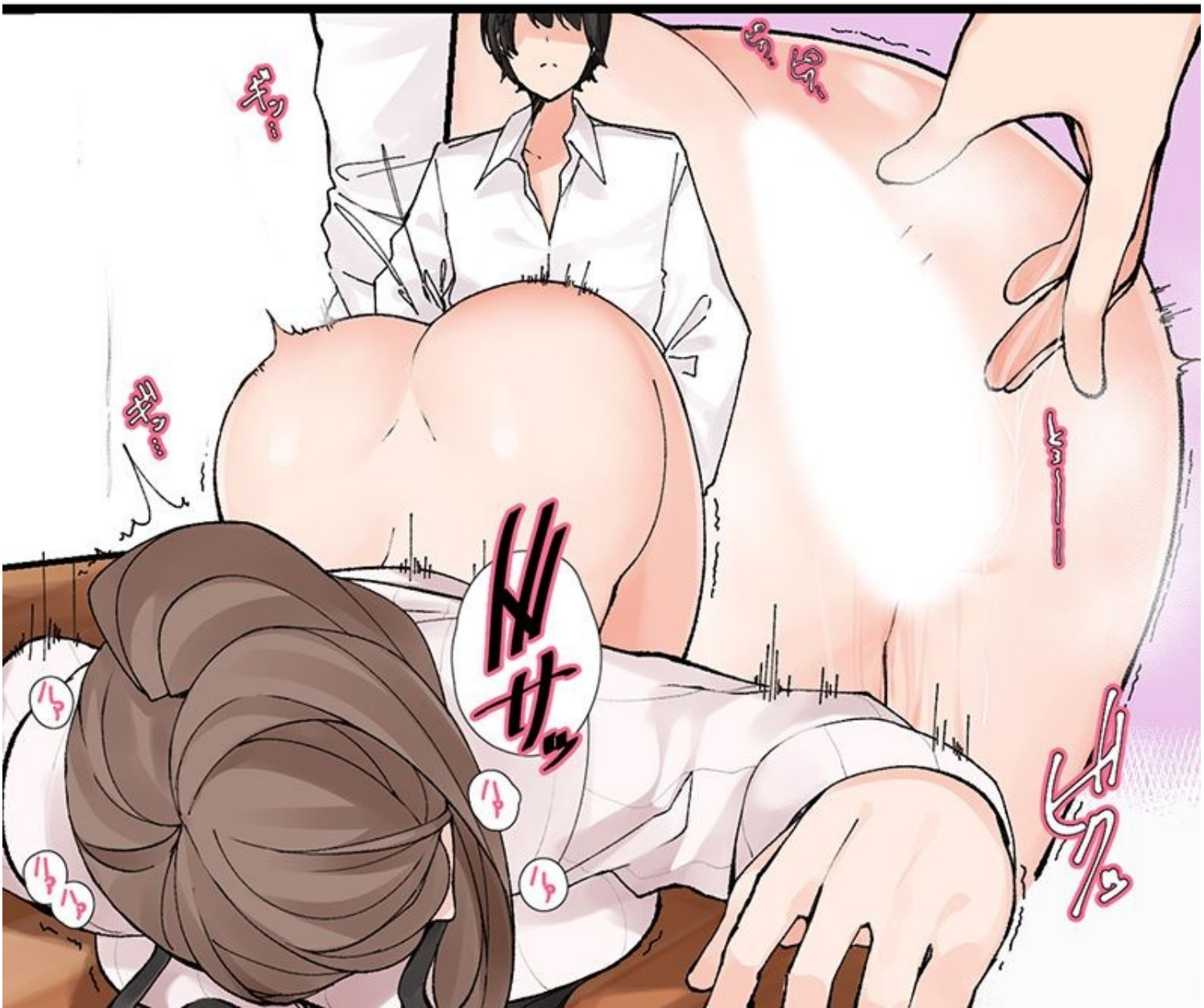

もうすぐ出来るから座って待ってね
ふぅ…
座ったら…眠気も……
疲れてるせいか…今日はやけにムラムラする…
ごそ…
がさがさ…
あいつわざとなのか？見せつけてくるような格好しやがって…
パンツ

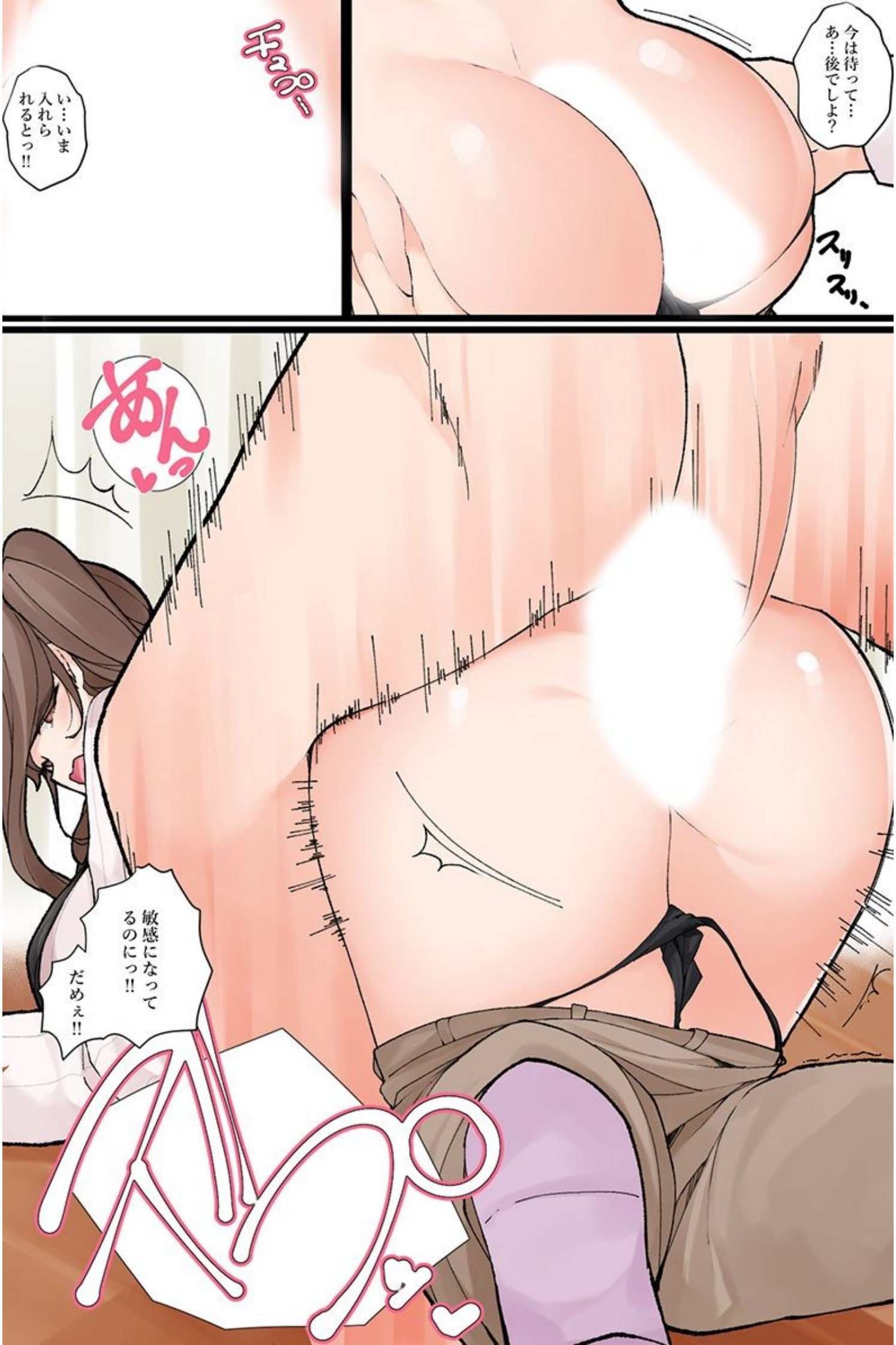

ムラ…
ムラ…
ムク…
ハァ
ハァ
ハァ
ガサゴソ！
シコ…シコ…
ムラ…
ムラ…
ムラ！
こんな
エロい尻
見せつけ
られたら…
もう…
我慢…
出来ないっ


ひゃっ!!
な…なに!?
ズリッ
ダメ…
今は危ないって
…ごめん!!
ど…
どうしたの!?
急に…!?
しゅぽっ


お前の体が…
エロすぎ
なんだよっ
あぁん
今は…
だ…だめ
だっ…て!!
後に…
しよ?
き…聞いて
…る?
後にっ…
て!!
そこはっ…
ダメっ…
感じちゃうぅ
!!
あぁっ!?
指が…
入ってっ…!!
もうとろとろ
になってきてる


おま○こかき回されて…おかしくなりそうっ!!
ビクン
ぐちゅ
あっ
あっ
あっ


ビクン
ズサッ
ハァハァ
ハァハァ
ハァハァ


今は待って…
あ…後でしよ？
スリスリ…
チュプ…
い…いま
入れら
れるとっ!!
めんっ♡
敏感になって
るのにっ!!
だめぇ!!


あっ♡
いきなり奥までっ!!あたってるぅ!!
きもちいい♡
ズン、
ズン、
今じゃなきゃ…もう我慢できないんだ
ごめん…止められないっ
パン、パン、パン、パン、パン、パン、
ズチュ、ズチュ、ズチュ、
あっ♡
あんっ♡
ちょっと!!激しすぎ…るっ!!
っん…どうしちゃったの!?
いつもはこんなに積極的じゃないのにっ!!
パチュ、パチュ、パチュ、
ズン、ズン、


ガシッ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
えっ!!
ちょっと…
こんな格好で
強引にっ…!!
あっ
あっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ


激し…いっ!!
突かれる度におち○ち○で中が押し広げられてく!!
あっ
あぁ
ん
パン
パン
パン
パン
パン
パン
ズン
ズン
ズン
子宮にあたるぅ!!
あっ


ちょ…ちょっと
休憩…させて…
さっき
イった
ばかり
だからっ…
何か…
言ってよ…
んっ

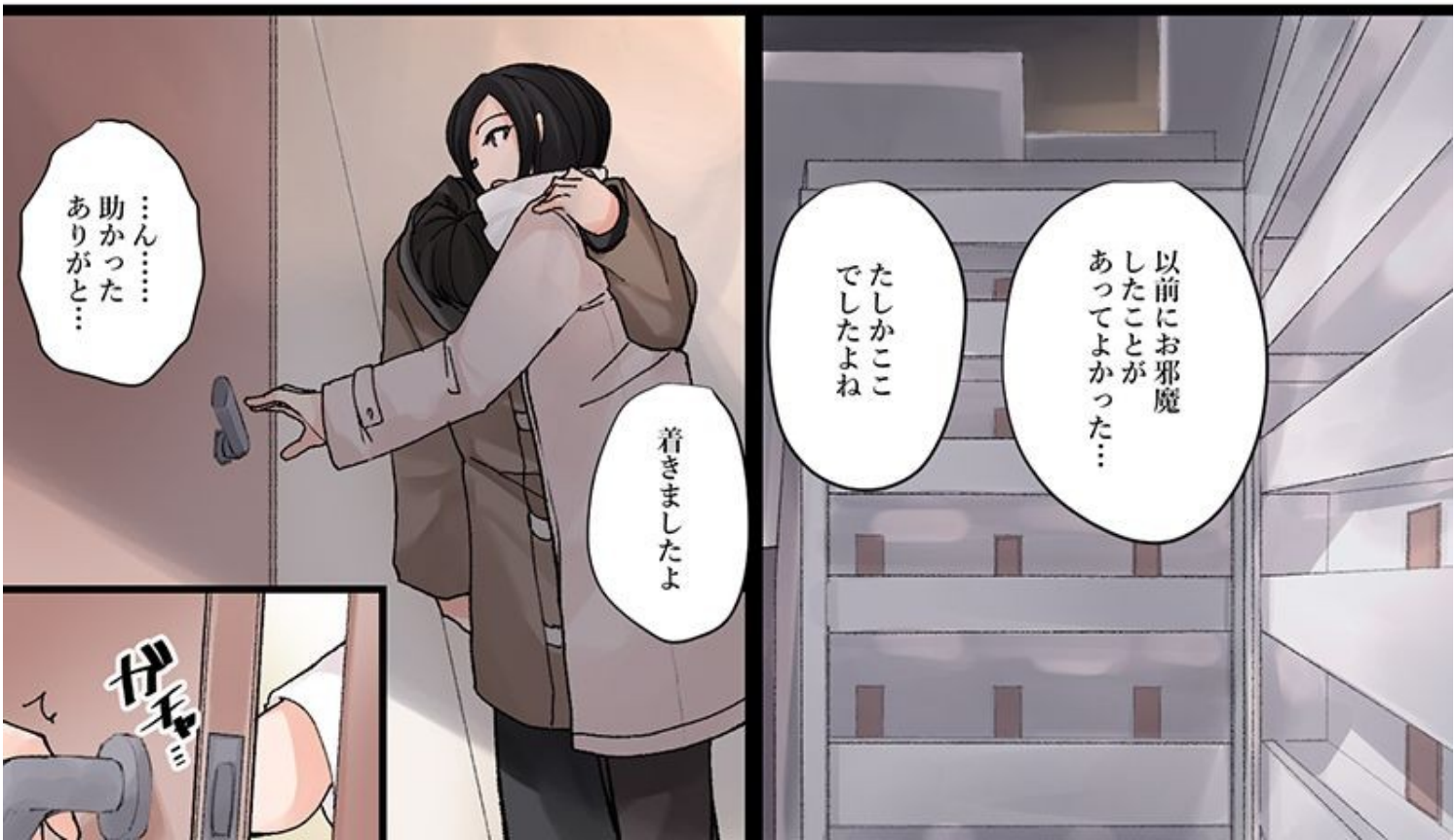

…またあの大きい
おち○ち○が…
私の中に……
想像しただけで
おま○こが
感じてくる…
ん…
ゴク…
ゴク…
ゴク…
ゴク…
サッ
キュン
クチュ
クチュ

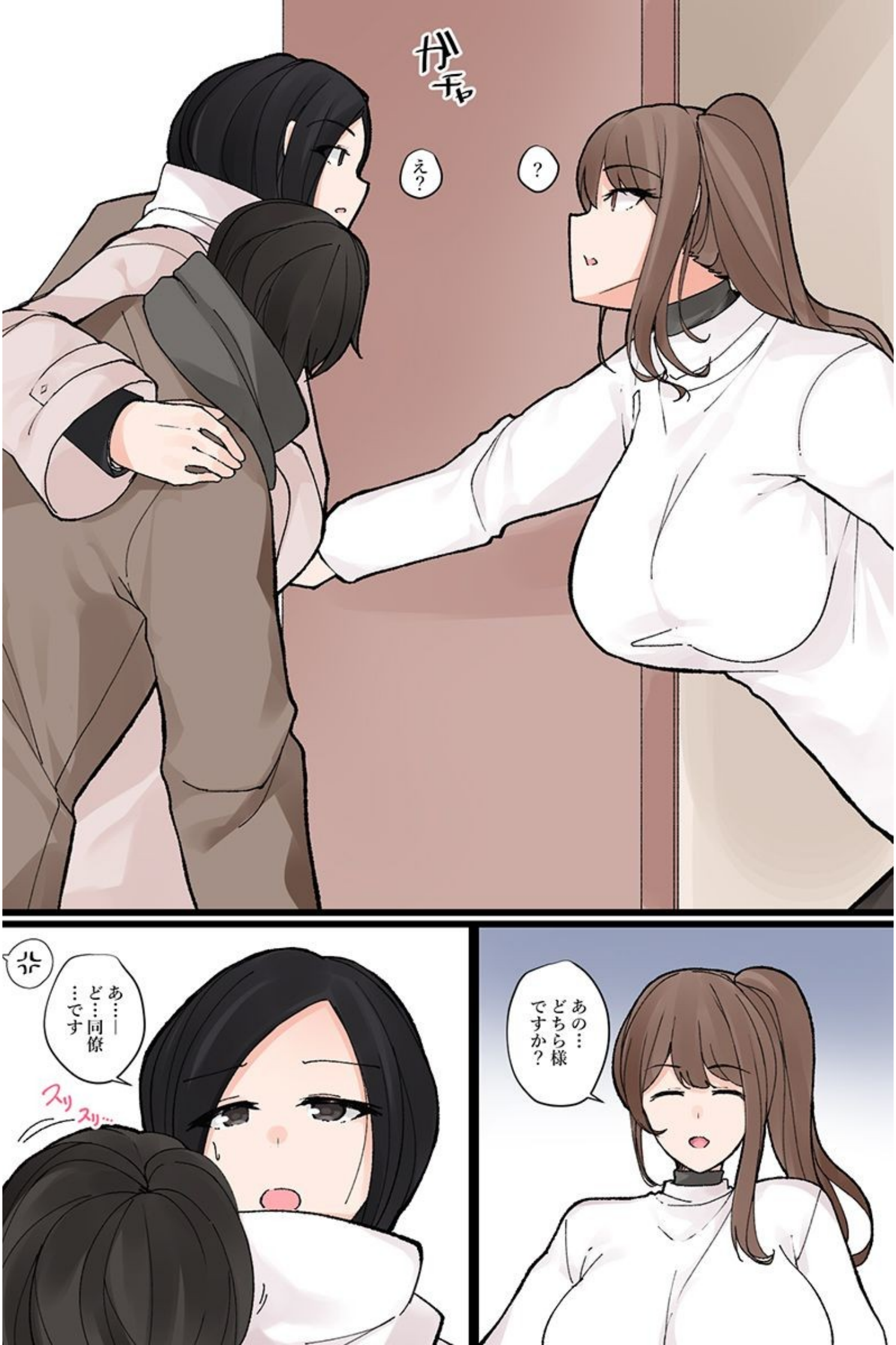

…何度っ…
同じ所を
突かれて…
あっ
あっ
あっ


パコッ
パコッ
パコッ
イっくうぅ♡
私の感じる所ばかりっ…責めてっ…
あっあんっ
んんあっ
気持ち良過ぎて気が狂いそう…
もう…いきなり射精しすぎ…性欲溜まり過ぎなんじゃない…？
ハァハァ
ハァハァ
あぁんあぁん
いくっ!!射…精が…止まらないっ!!
ビュービュルルー
ブピュ
ドピュー

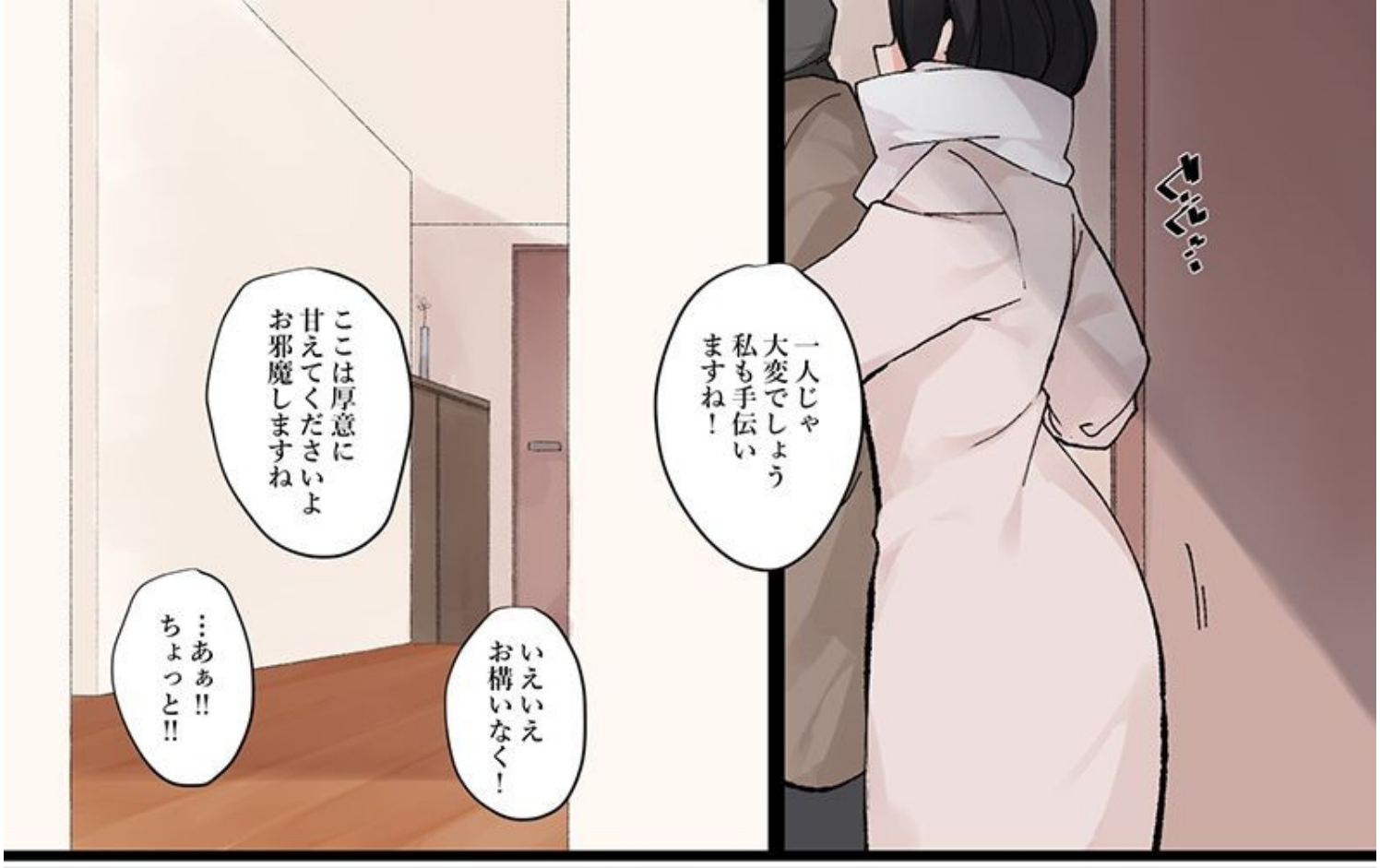

明日休みだからって飲み過ぎですよ…
もう…大丈夫ですか？
うぅ…っ
しっかりしてください…
んん…！
ふら…
ふら…
同僚(真耶)
ちゃんと自分で歩いてくださいね
ヨロ…

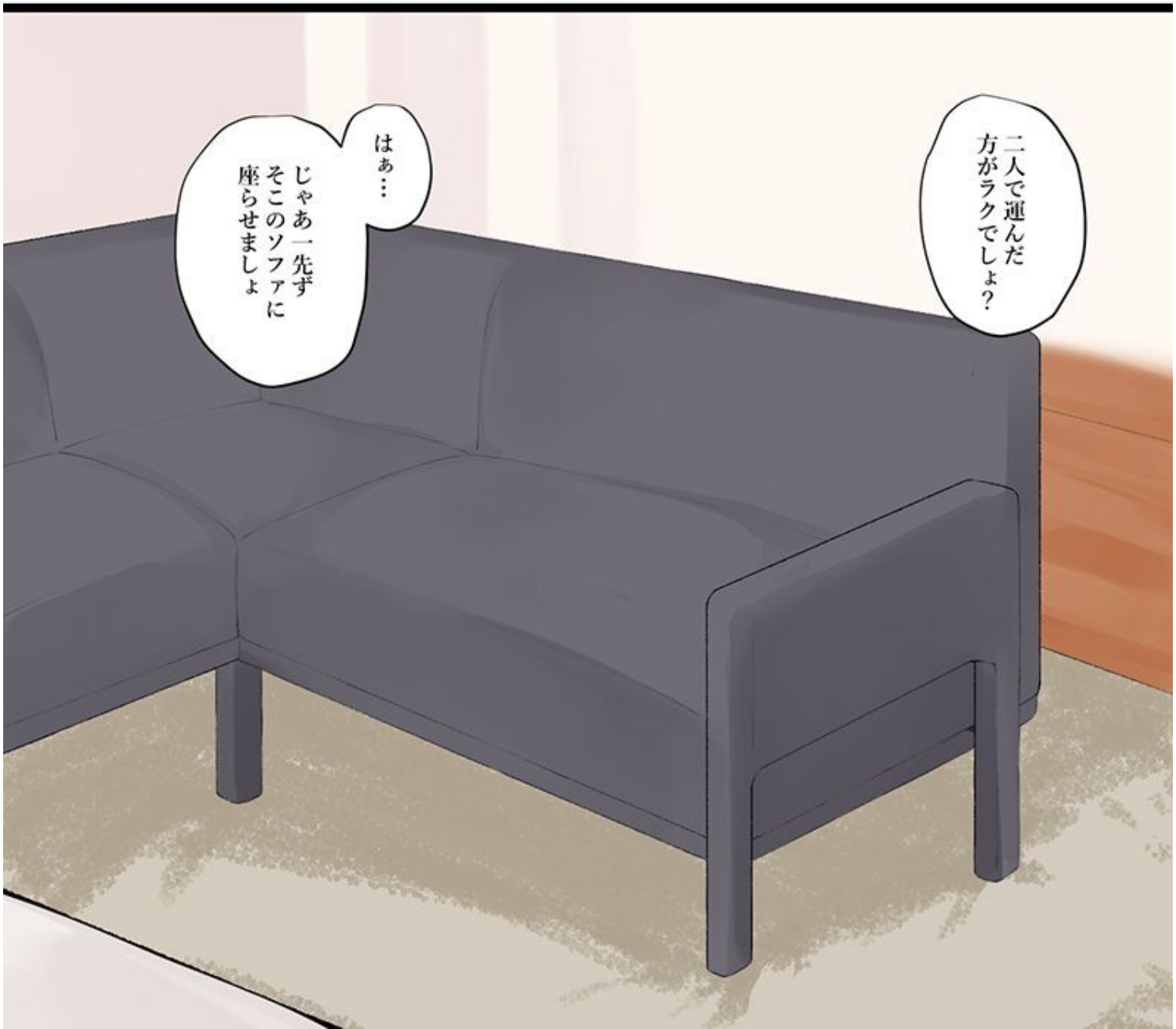

はぁ…
もう…
仕方ない
ですね
ヨOO…
ニキ…
ニキ…
ニキ…
ニキ…
私、一応女なん
ですから…
男性を運ぶの
大変なん
ですからね


以前にお邪魔
したことが
あってよかった…
たしかここ
でしたよね
着きましたよ
…ん……
助かった
ありがと…
ガチャ

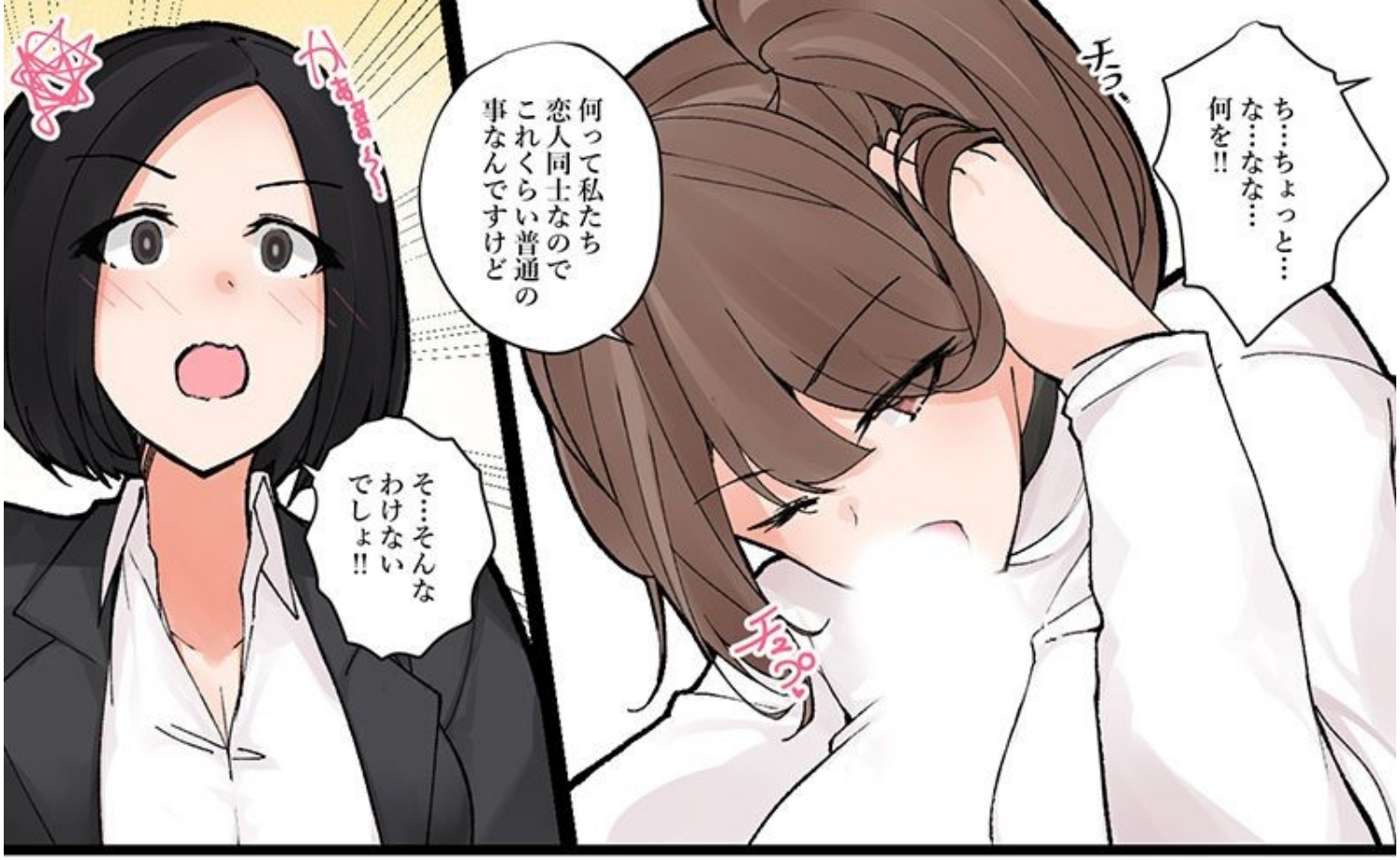

ガチャ
え？
？
あの…
どちら様
ですか？
ピク
あ…
ど…同僚
…です
スリ スリ…

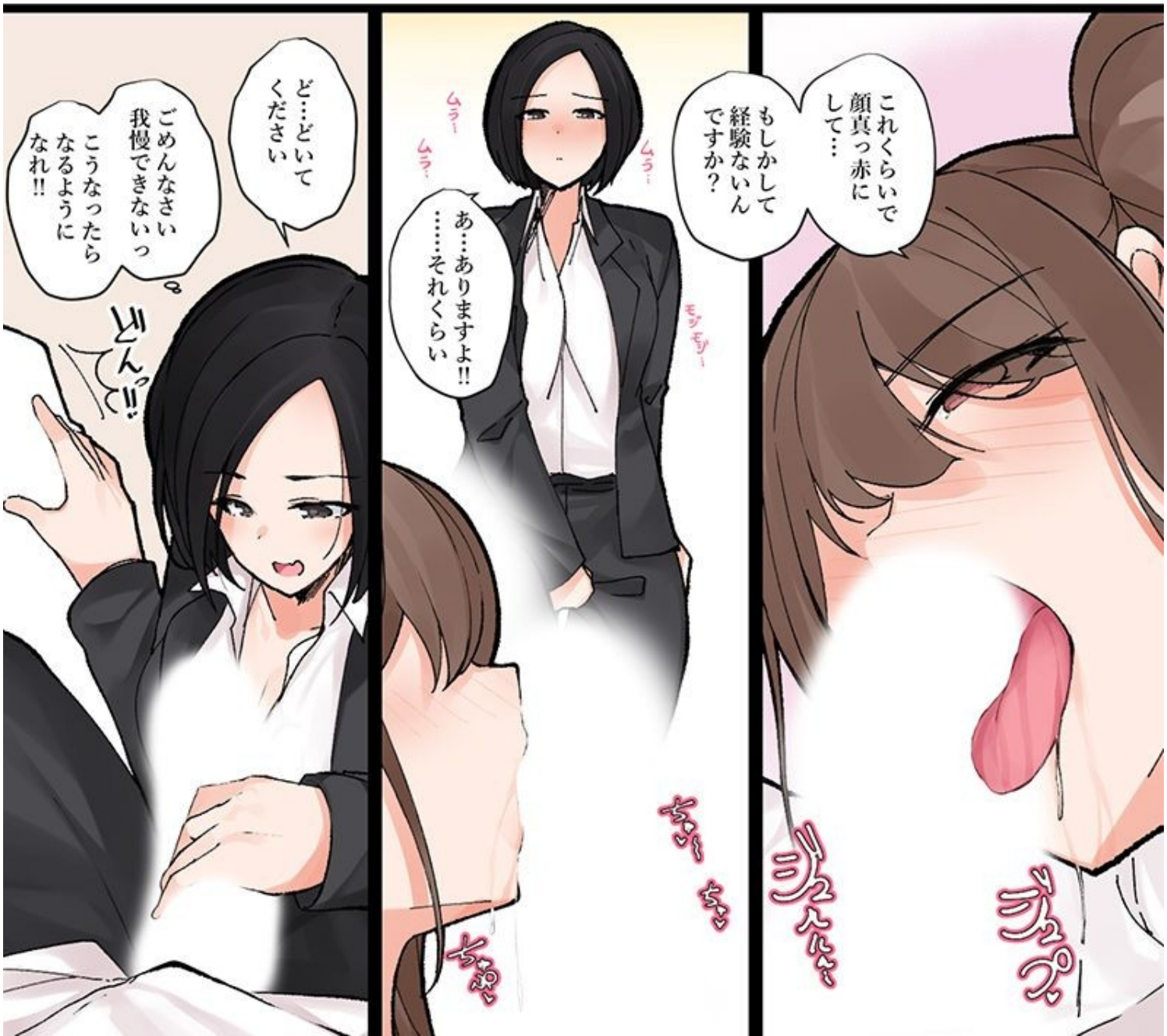

そーでしたか
ご迷惑おかけ
しました
ガシッ
あとは私が
やりますので、
ありがとう
ございました
ぐいっ
あっ…
ちょっと!!
何ですか?
彼女さん
なんですか?
…世話焼きな
幼馴染で
っ…いいえ!!
彼女です!!
……ふーん
違うんですね


ぐいっ…
一人じゃ大変でしょう私も手伝いますね！
いえいえお構いなく！
ここは厚意に甘えてくださいよお邪魔しますね
…あぁ!!ちょっと!!

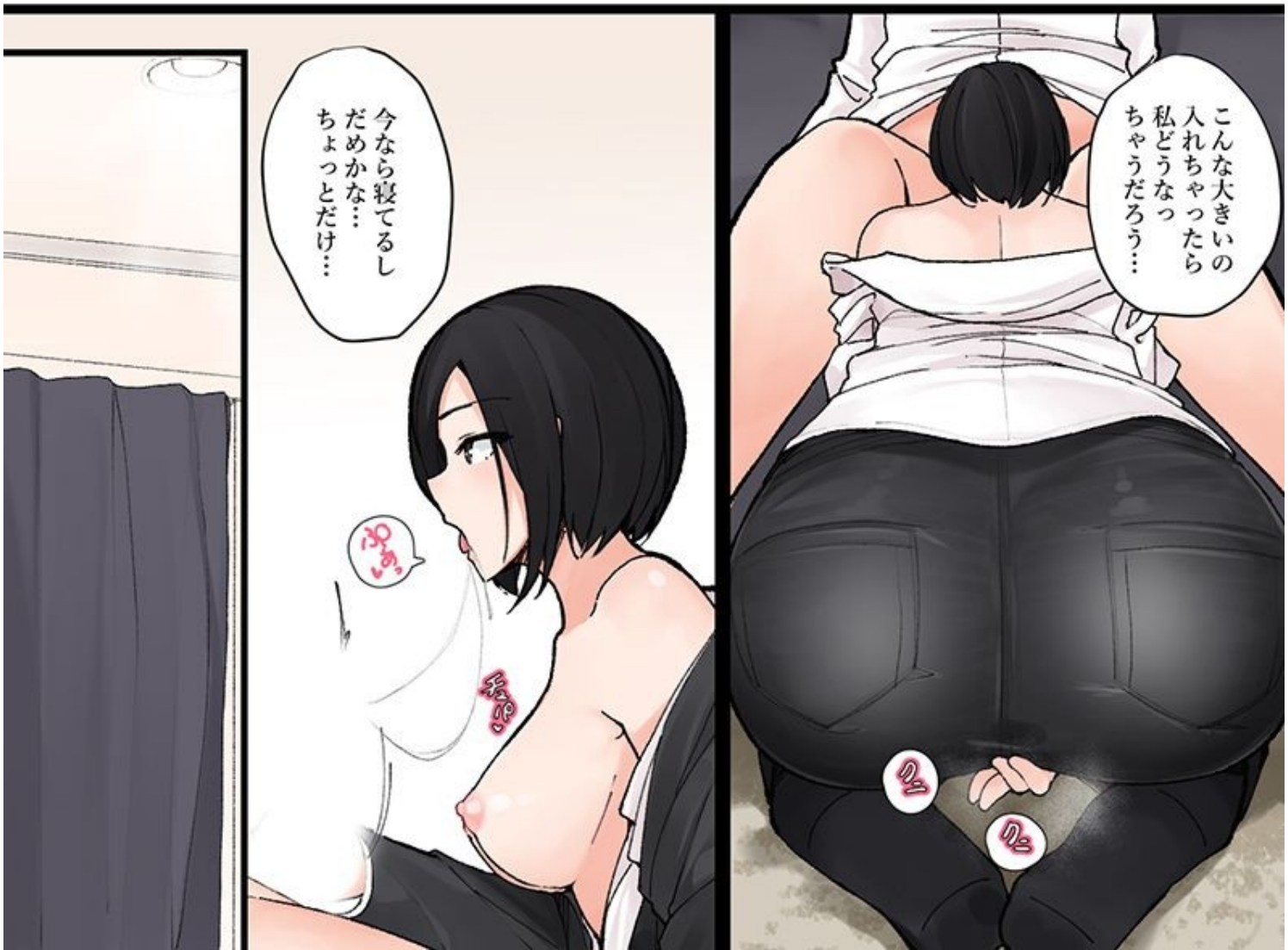

二人で運んだ方がラクでしょ？
はぁ…
じゃあ一先ずそこのソファに座らせましょ


寝てる……
Zzz…
シワになっちゃうから着替えさせないと
…あもう…
クリ…
あれぇ？こんなに大きくさせちゃって
同僚の方もいるっていうのに
ピンッ
仕方ないなぁ世話がかかるんだから
カチャカチャ


ち…ちょっと…
な…なな…
何を!!
チラ
何って私たち
恋人同士なので
これくらい普通の
事なんですけど
そ…そんな
わけない
でしょ!!
チュプ

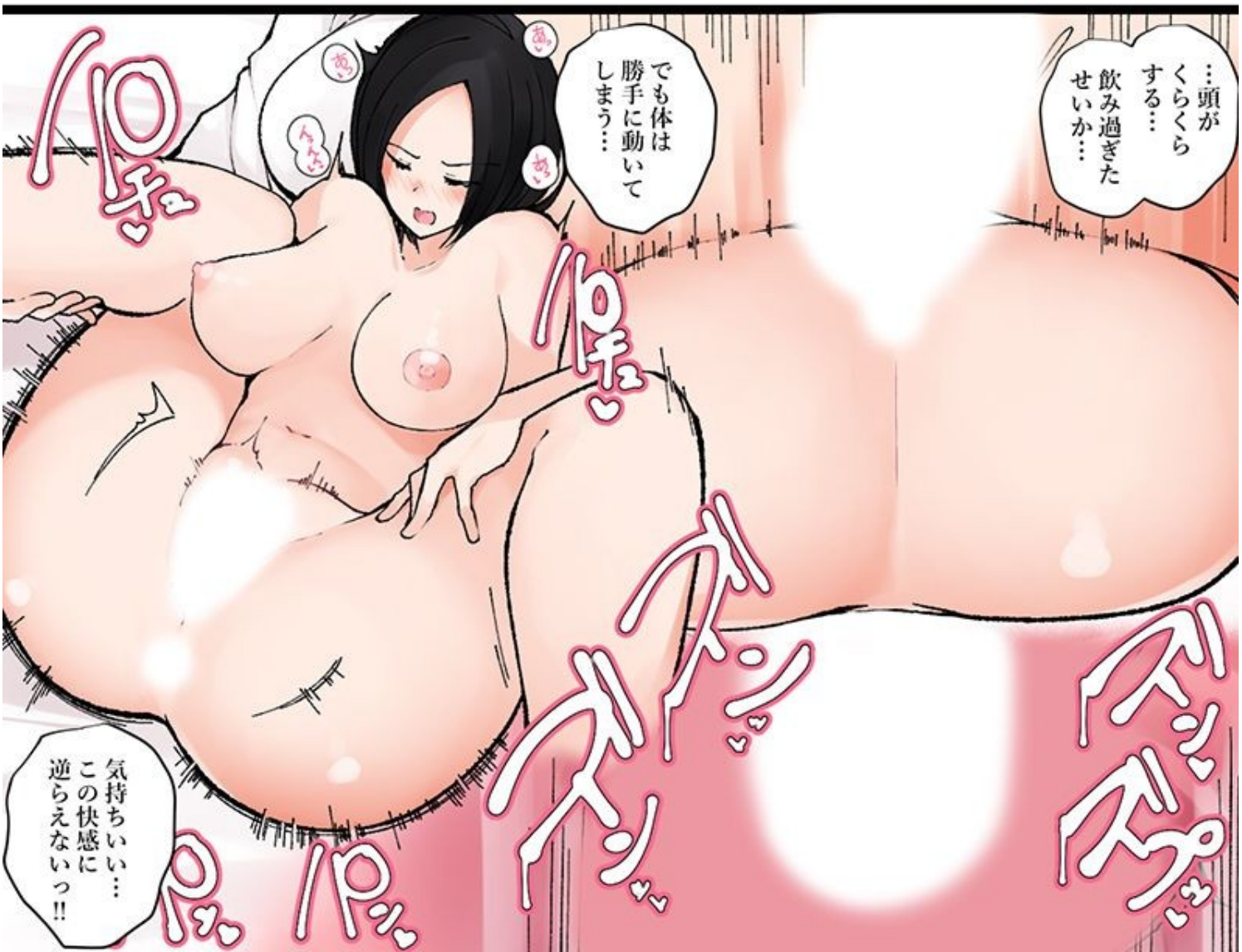

これくらいで
顔真っ赤に
して…
もしかして
経験ないん
ですか?
ムラ…
ムラ…
あ…ありますよ!!
……それくらい
モジモジ
ジュプ
ジュルル
ちゅ ちゅ
ちゅぷ
ど…どいて
ください
ごめんなさい
我慢できないっ
こうなったら
なるように
なれ!!
どんっ!!


すごい…実際に触ってみるとすごく大きい…
これが彼のおち○ち○…好きな人とまさか私が―
おま○こに…入れてみたい…
エッチしたい…
ジュポォ～♡
ジュルル～♡


こんな大きいの入れちゃったら私どうなっちゃうだろう…
今なら寝てるしだめかな…ちょっとだけ…


んんっ…
温かくて気持ちいい中がおち○ち○でいっぱい……♡
いつまで独り占めしてるつもり？私のなのに!!
…だめですこんなに気持ちいいのに…交代したく…ないです…
パン
パン
パン
パン
パン
パン
パン
ズプッ
ぱっ
…えぇっ!?二人共っ…何して…!!
何って…本当の彼女を決めるための戦いです！
はぁ!?…
チュン


ん…なんで
そんなことに
なって…
いいから
もっとここ…
ぐちゃぐちゃに
…して♡


…頭が
くらくら
する…
飲み過ぎた
せいか…
でも体は
勝手に動いて
しまう…
気持ちいい…
この快感に
逆らえないっ!!


んっ
んっ
んあ
んんっ
ヌチュ
チュプ
ズン
ズン
ズン
ズン
…キス…
されながら
……んんっ♡
っ…激し…いっ
んっ…んぁ
イっちゃい
そ…う…
ズチュ
ズチュ
ズチュ


そっちばっかり…
私にも…早く入れて♡
もうこんなに濡れちゃってるから…
そんな子いいからこっちにちょーだい
ヒク…
ヒク…
あんっ
ジュン
まだ…途中だったのに…もう…
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
気持ちいい…もっと…もっとぉ♡
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ


ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
パン
パン
パン
パン
パン
パン
ぱっぱっ
んっ
んっ
んっ
あん

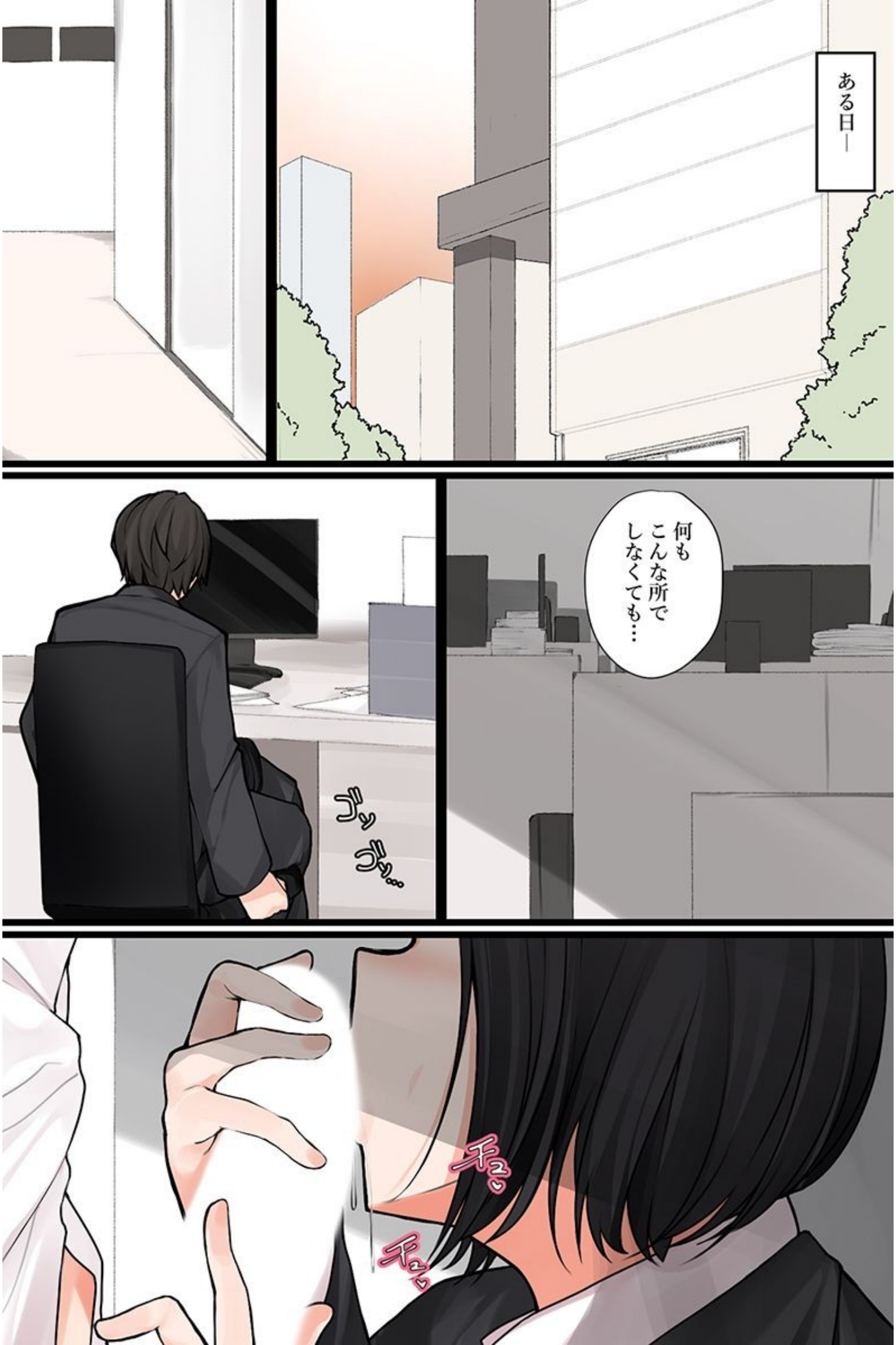

もういいでしょ…
もう一回入れて…
今度は後ろから…して…
ぷぁ。
ぷぁ。
ぷぁ。


もう…
でるっ!!…
ビクッ
ビュルルルー
ビュル…
ビュル…
ビュル…
精液が…私の
中にっ…
おち○ち○が
ドクドク
脈打ってる…
私もっ…
イっくぅ〜!!
ビュルルルー
ビュル…
ビュル…
ビュル…
イっくぅ〜♡
中出しされて
イっちゃうぅぅ
全部出してぇっ♡
キタ♡


中に出すだけ出して寝ちゃいましたね…
今回は彼女の件引き分けにしといてあげますね
ん？…
まあいいわ…次は私の最高の奉仕で精液全部搾り出すからあなたの分は残ってないですけどね！
こんなに出たんだ…溢れ出てきちゃう…まだ物足りないなぁ
ぴゅ♡
ぴゅ♡
どろ～～♡
どろ～～♡

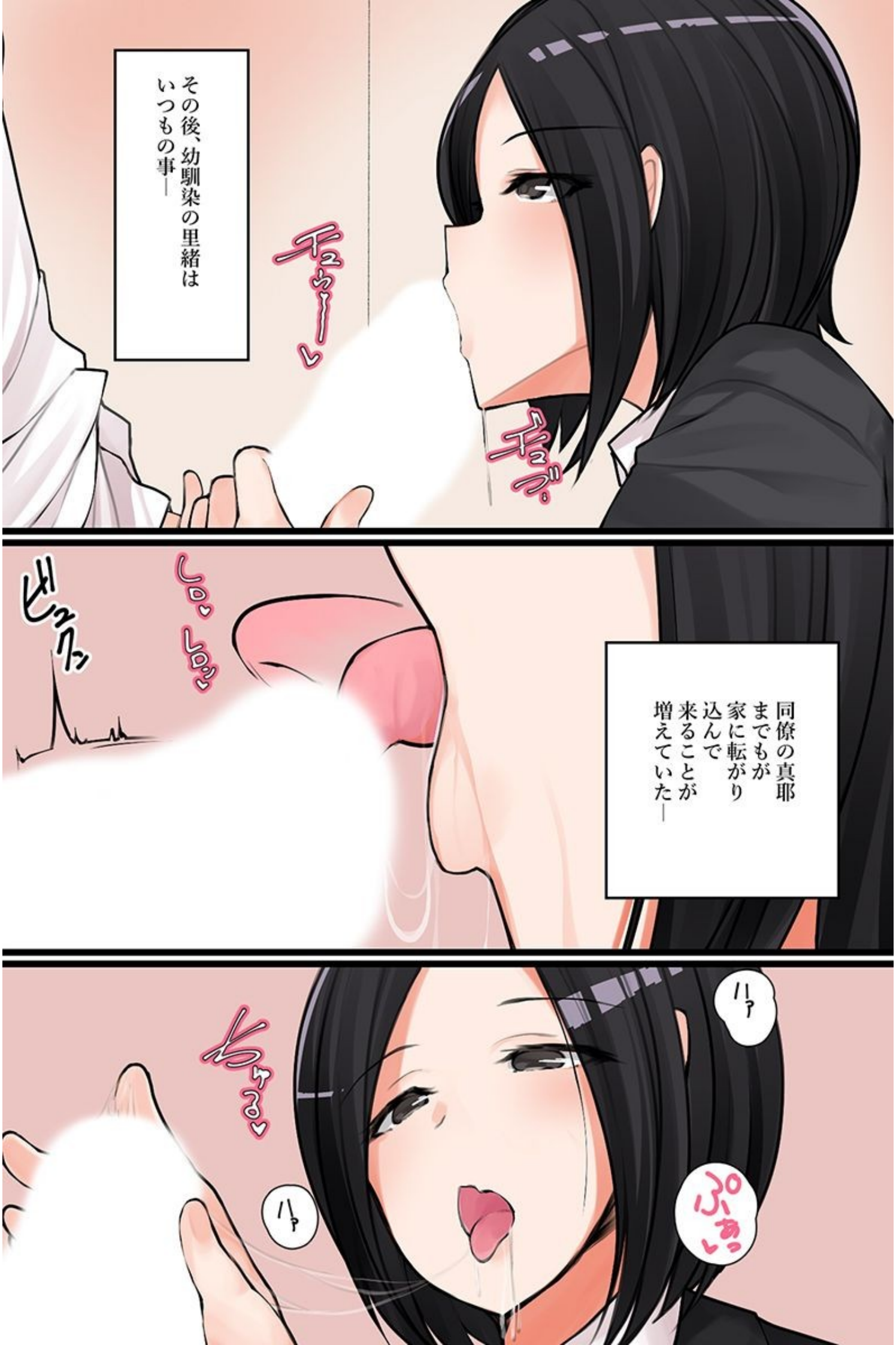

フルカラーコミック
いちゃラブハーレム!
世話好き幼馴染と美人な同僚が僕に何でもシてくれるから…
2



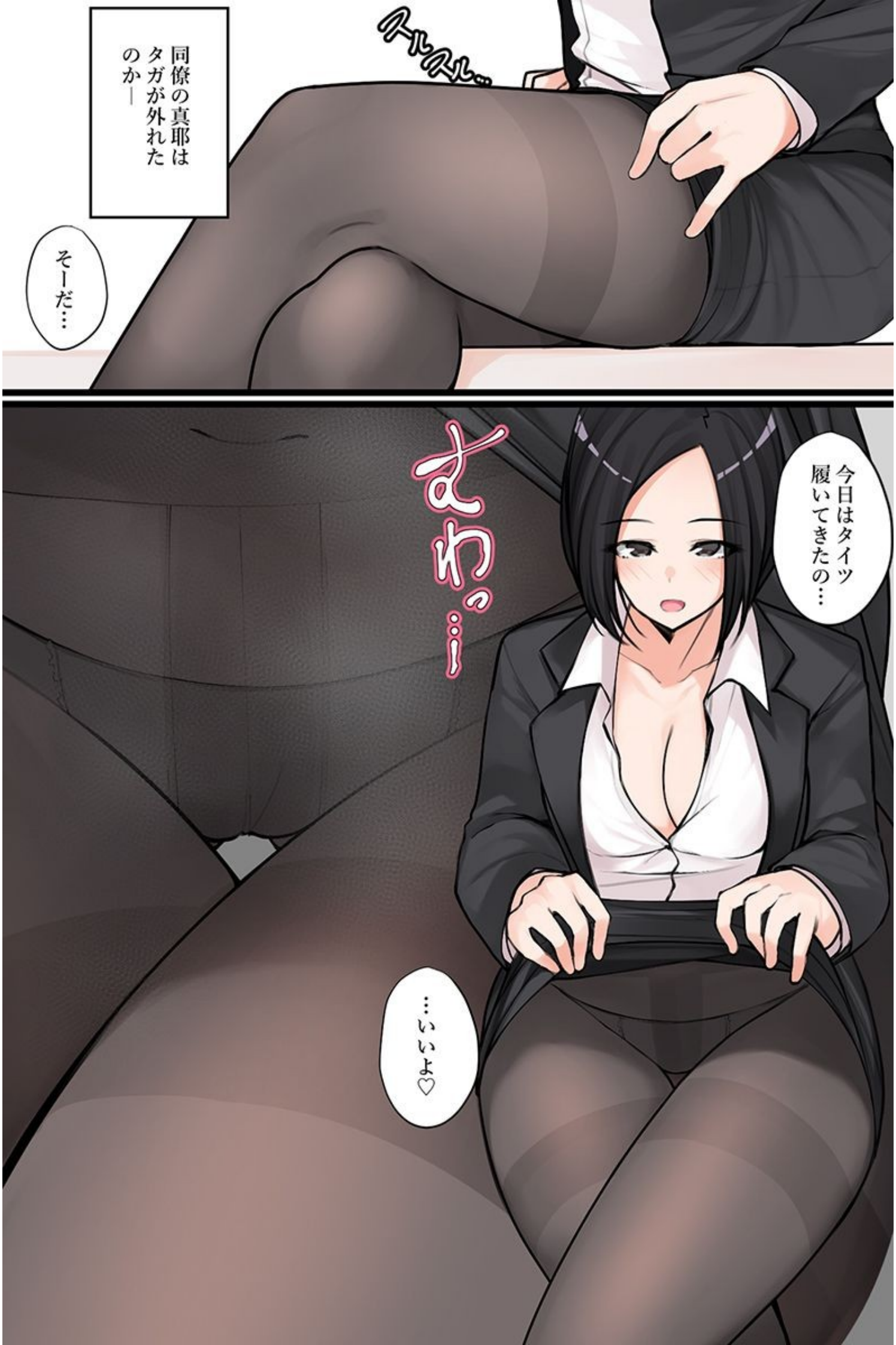

ある日―
何も
こんな所で
しなくても…
ブゥ…
チュ。
チュ。

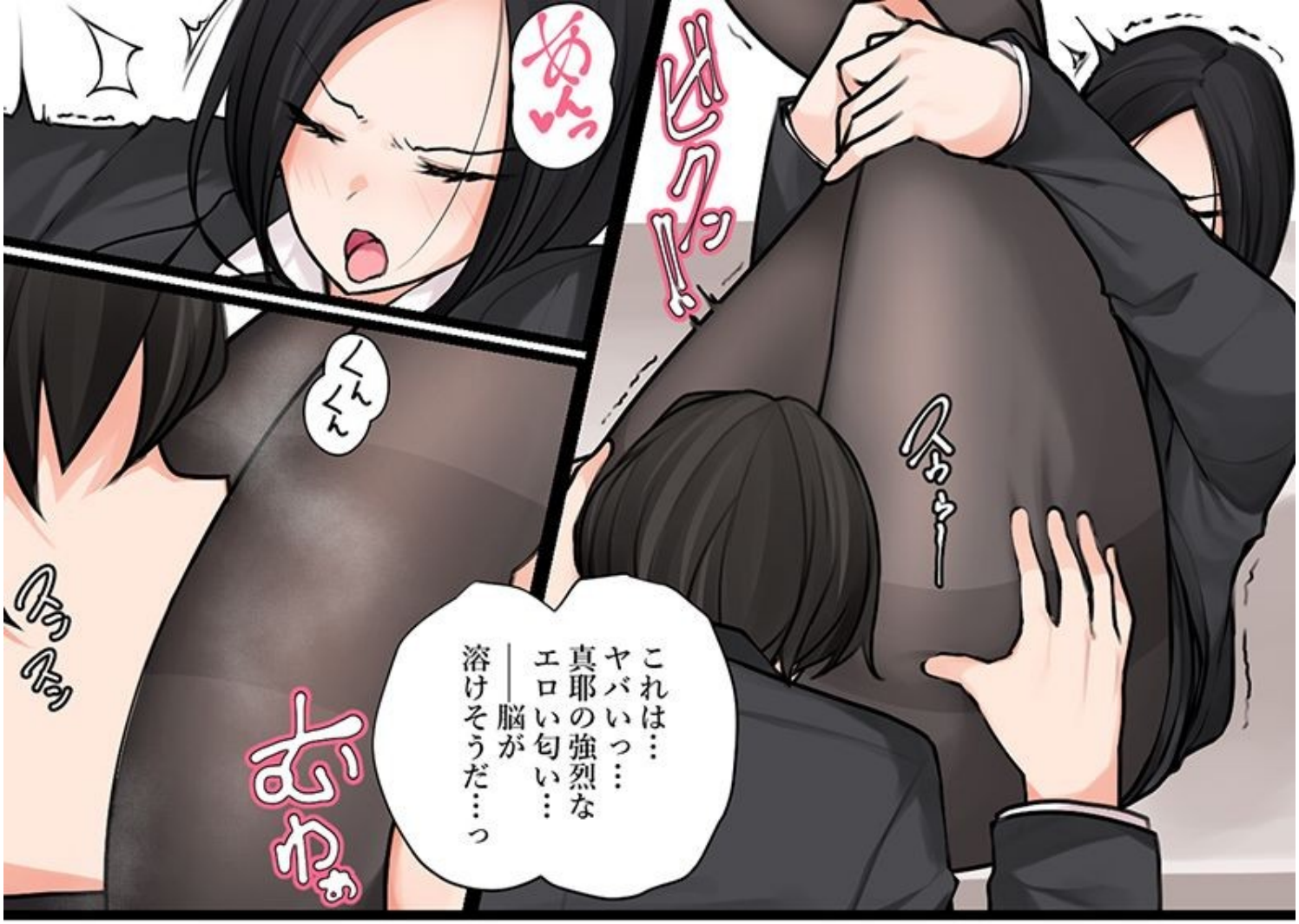

……ん…っ
ここなら
独り占め
できるかな
……って
はむ〜


んっ…
ビクッ！


その後、幼馴染の里緒はいつもの事―
チュー
チュプ
同僚の真耶までもが家に転がり込んで来ることが増えていた―
ビクン
レロ、レロン
ハァ
ぷはっ
ハァ


あの夜のことがあってからは―
グッ
クンッ
シコシコ…
ハァ
ハァ
ハァ


スルスル…
同僚の真耶はタガが外れたのか―
そーだ…
むわっ…!
今日はタイツ履いてきたの…
…いいよ♡


ぬっ
ビクン!
くんくん
スゥー
これは…
ヤバいっ…
真耶の強烈な
エロい匂い…
――脳が
溶けそうだ…っ
むわぁ


こうして人目を盗んでは
社内で快楽を求めてくる
ようになっていた―
ビクッ
スゥー
くんくん…
息が…っ
あたって…
…気持ちぃぃ
…っ!!
くんくん…


普段の同僚の姿しか
知らなかったが―
ハァハァ
ハァハァ
次は私ね…
こんなにエロい人だった
とは思わなかった―
もみ…
こんなの…
どう？…
クリスリ…
タイツの
感触―
ガニッ


タイツ越しにふとももの柔らかさが伝わって…
気持ち良過ぎるっ…!?
タイツ破って私を犯したくないですか?…
ねぇ…どうします?


ゴクリ…
…入れて…
朝からずっと
我慢してて
もう限界なの…
ドンッ
ガッ


今なら誰もいないから…
早く…っ
しょうがない…
こうなったら満足するまでやってやるっ
ぎゅ…


んっ
ヤバイ
ビリッ
ビリッ
こんなエロい尻
言われなくても
犯してやるよっ
……!!

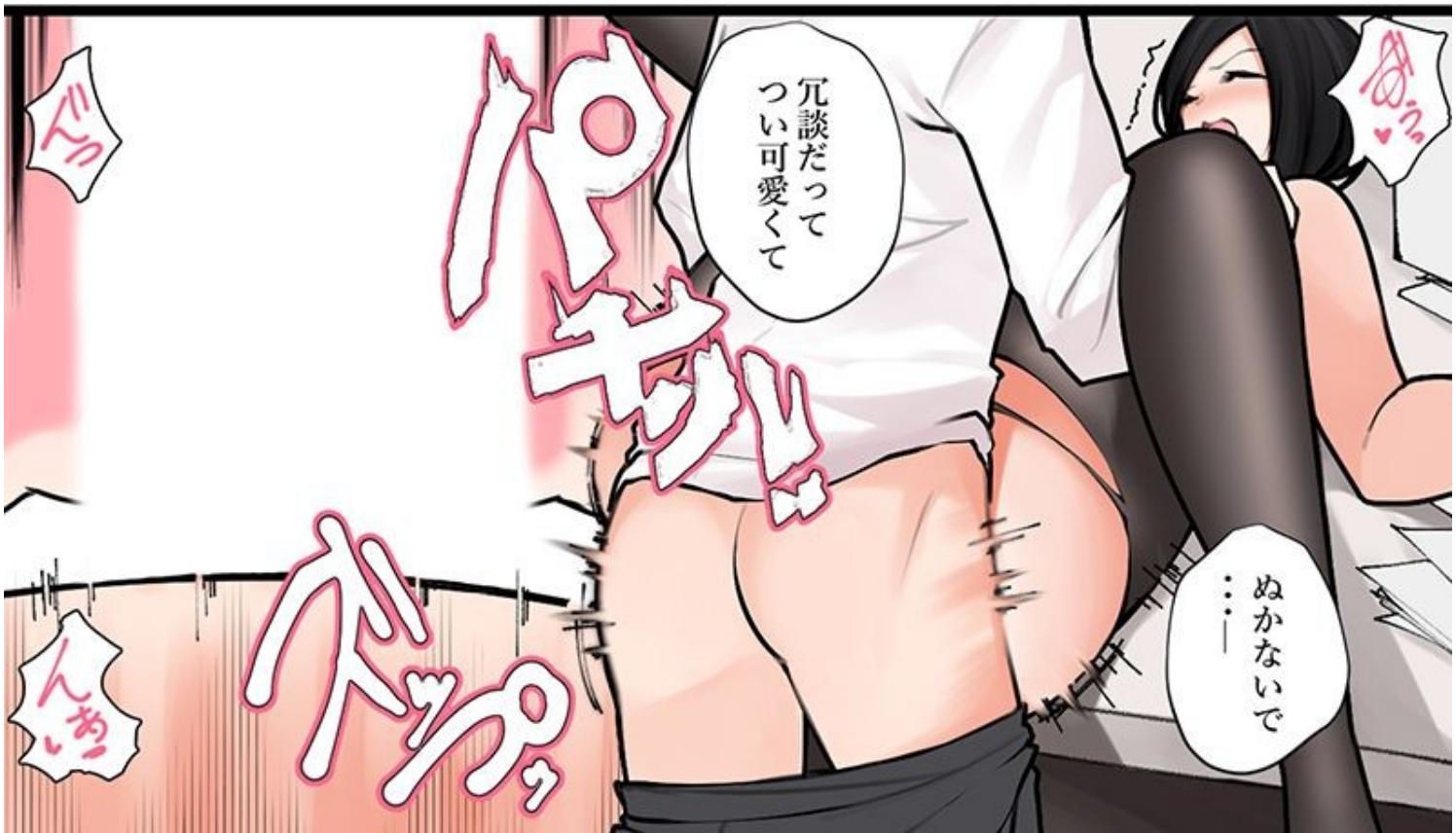

あんっ
こうやって……っ!!
くぱぁ
にちゅ
ぬぷぷ
ぐぷっ
一気に……っ
奥までっ……!!
ぎゅ…
ズンッ
あっ♡


んっ
んっあっ
パンッ
パンッ
パンッ
ボッ
はむ…
ぐぅっ
…っすごい…
激しいっ!!
パンッ
あんっ
あっ
パンッ


いいの？
そんなに
声出して…
誰かに気付かれ
ちゃうかもよ？
あっ
んあ
あんっ
ん
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ビクンッ!!
……っあ…
…んぁぁ!!
だっ…
だってぇ…!?
ビクッ
だめっ…!!
声…
出ちゃう…っ!!
ビクンッ!!
ビクンッ!!
ビクンッ!!


ガシッ
これがしたかったんだろ？エッチなこと…
…―さっきから気持ちいい所ばかり責めてくるから…んっ!!
そっちが悪いんだよ
ここ…好きでしょ？
ハァハァ
ハァハァ


ハァハァ
ハァ？
ハァハァ
……
ハァハァ
好きじゃなかった…？
やめちゃおっかなぁ…
ハァハァ
ダメっ…!!
や…
やめないで…


冗談だってつい可愛くて
ぬかないで…
ぐっ
パキッ
ズッ
んあ


ハァ
ハァ
ハァ
ドキッ
……っ!?
――……いじわるっ
ドキッ
ドキッ
ドキッ
ダメだ…いつも以上に今日は可愛い…っ!?




!?
凄いっ…
突き上げ!?
ズンッ
ズンッ
ズンッ


パン
パン
パン
パン
パン
パン
んあっ
あ!!
さっきより
おち○ち○が
大きく・・・なった!?
んっ
んっ


ズン
ズン
ズン
ズン
あんっ
あんっ
あんっ
私のおま○こ…
無理矢理広げ
られてく・・・っ!?
ミチ…
ミチ…


ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
強引に犯されてる
みたい・・・っ!!
あっんっ
あっ
んっ
これ・・・
好き・・・
かもっ♡
んっ


ビンビン
パンパン
ぐいっ
パンパン
トン…トン…
ハァ
ハァハァ
パンパン
パンパン
パンパン
あんっ
あんっ
あっ


パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
あっ
あんっ
あんっ
あっ


静かにしないと
人・・・来ちゃうよ？
パンッ


ぁんっ
ぐいっ
アぁンッ
ハァ
ハァ
ハァ
あんっ
ダメ…声
出ちゃうっ…!!
バレちゃうよ?
…っ―
だって…!?
ハァ
ハァ
イかされちゃうっ
乱暴に犯されて…
ハァ
ハァ
ハァ

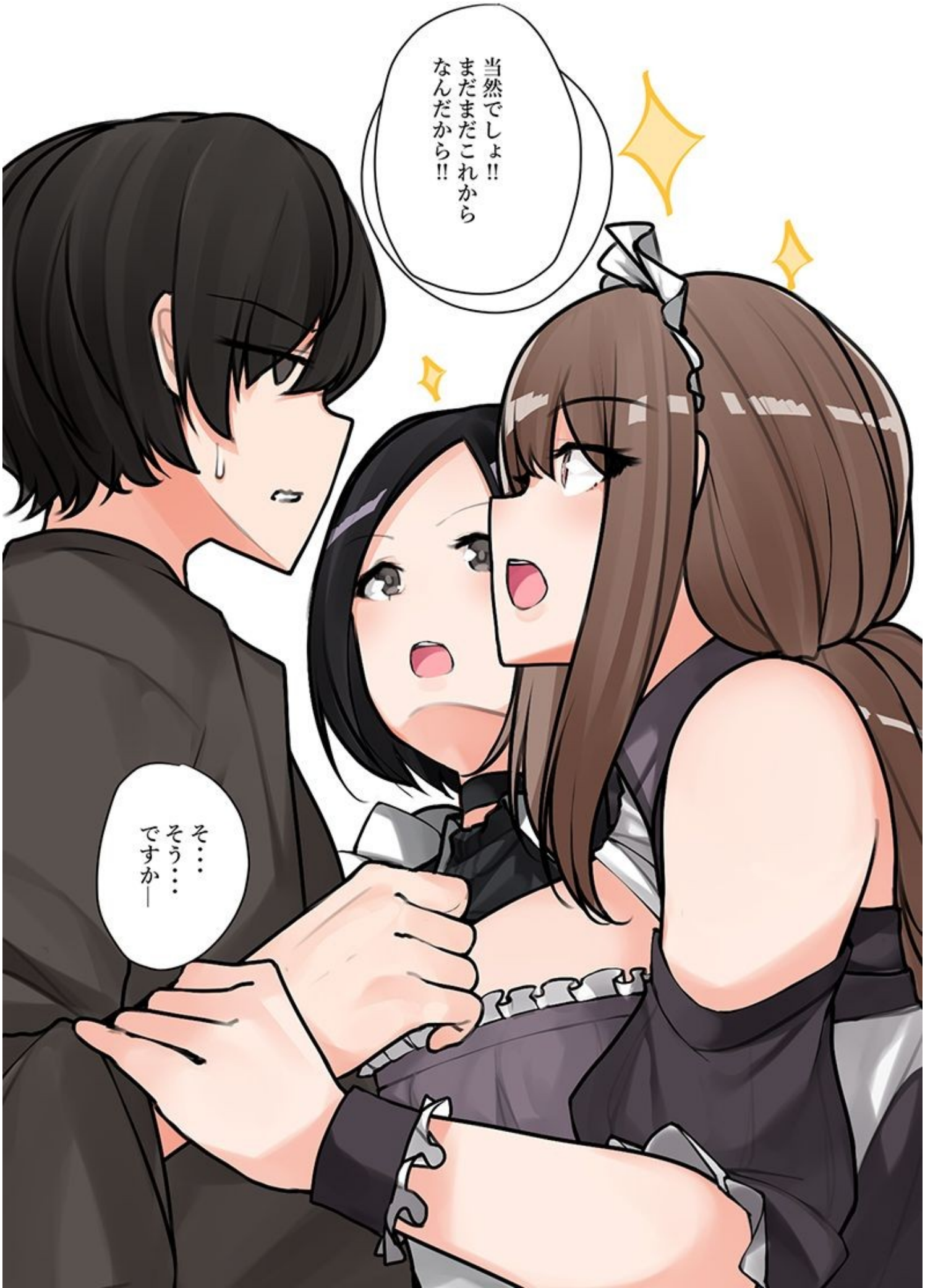

私の中パンパンにされてイかされるっ!!
んあっ
っ…ー
でるぅっ!!
ビュルル
ビュルル
ハァ…んっ
ハァ
ハァ
ビクン
ビクン
こんな所で…またやっちゃった…
ハァ
誰か来る前に…着替えないと…
ハァ

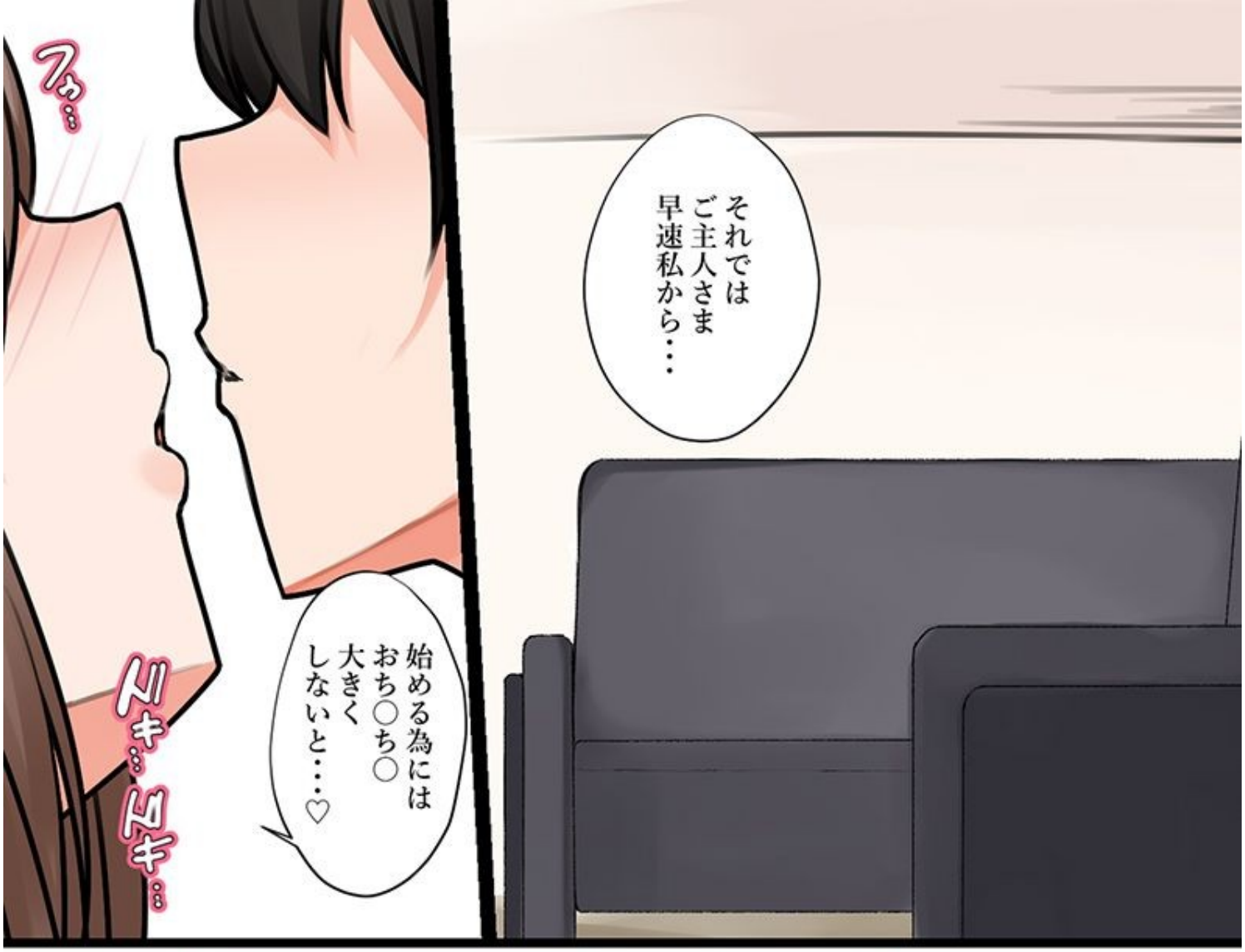

とある休日ー
ガチャ
え？
おかえりなさいませ…ご主人さま♡
モジ…
お…おかえりなさい…ませ
モジ…


なんで私まで
こんな格好で…
はぁ～
は…初めて…
着るよぉ～…
ムカ…
なんでって…
勝負はまだ
終わってないからね
いやっ!!
やっぱり公平に
しないとね
抜け駆けは
よくないよ♡
G=
G=

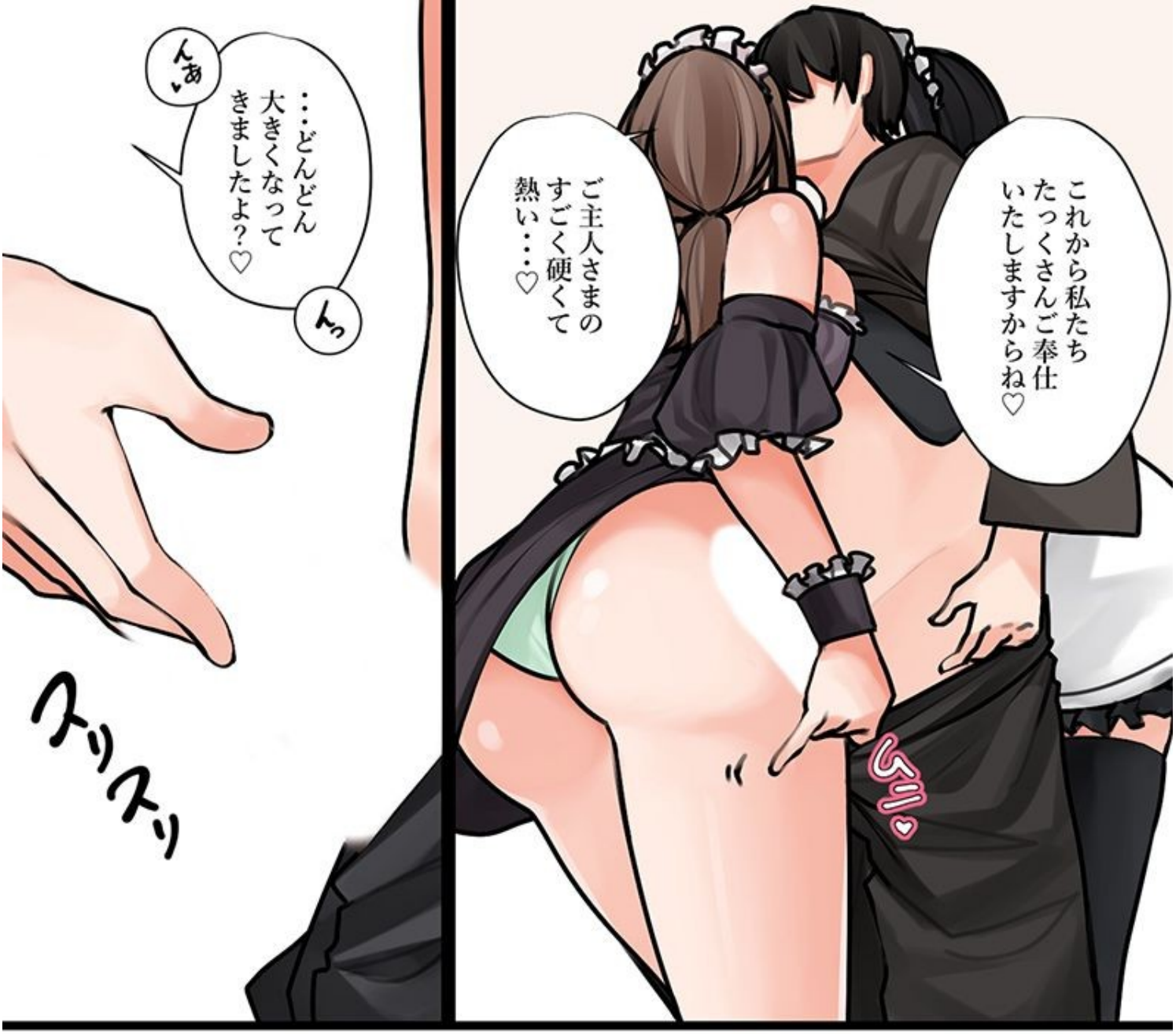

いちいち着なくても…
—って言ってる割には着てるじゃん
こ…これはあなたの為に着たんじゃなくて!!…
はいはいっ

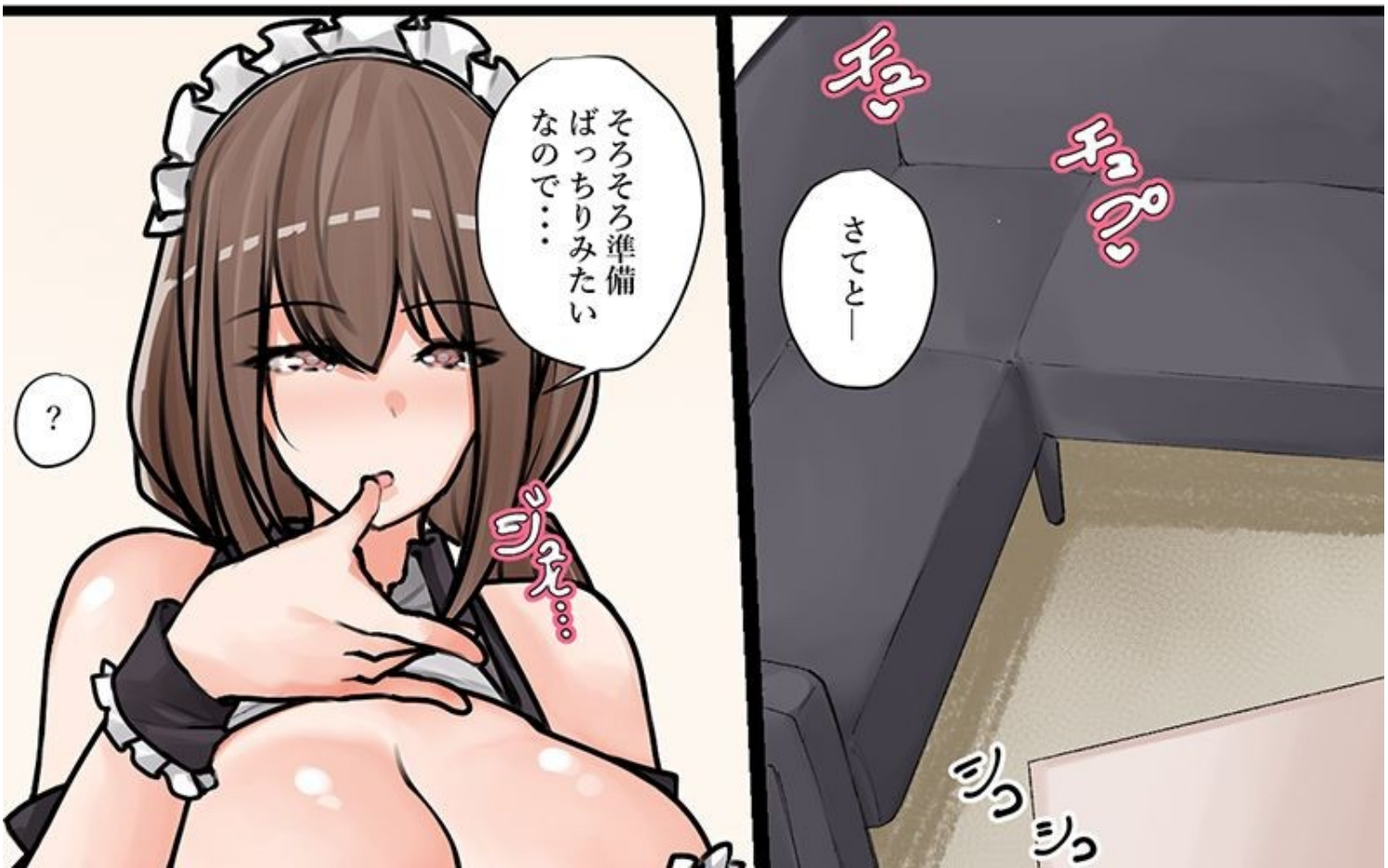

ポリポリ
似合ってるよ～すっごく可愛い♡
う…うるさい…
その勝負まだ続いてたんだね…

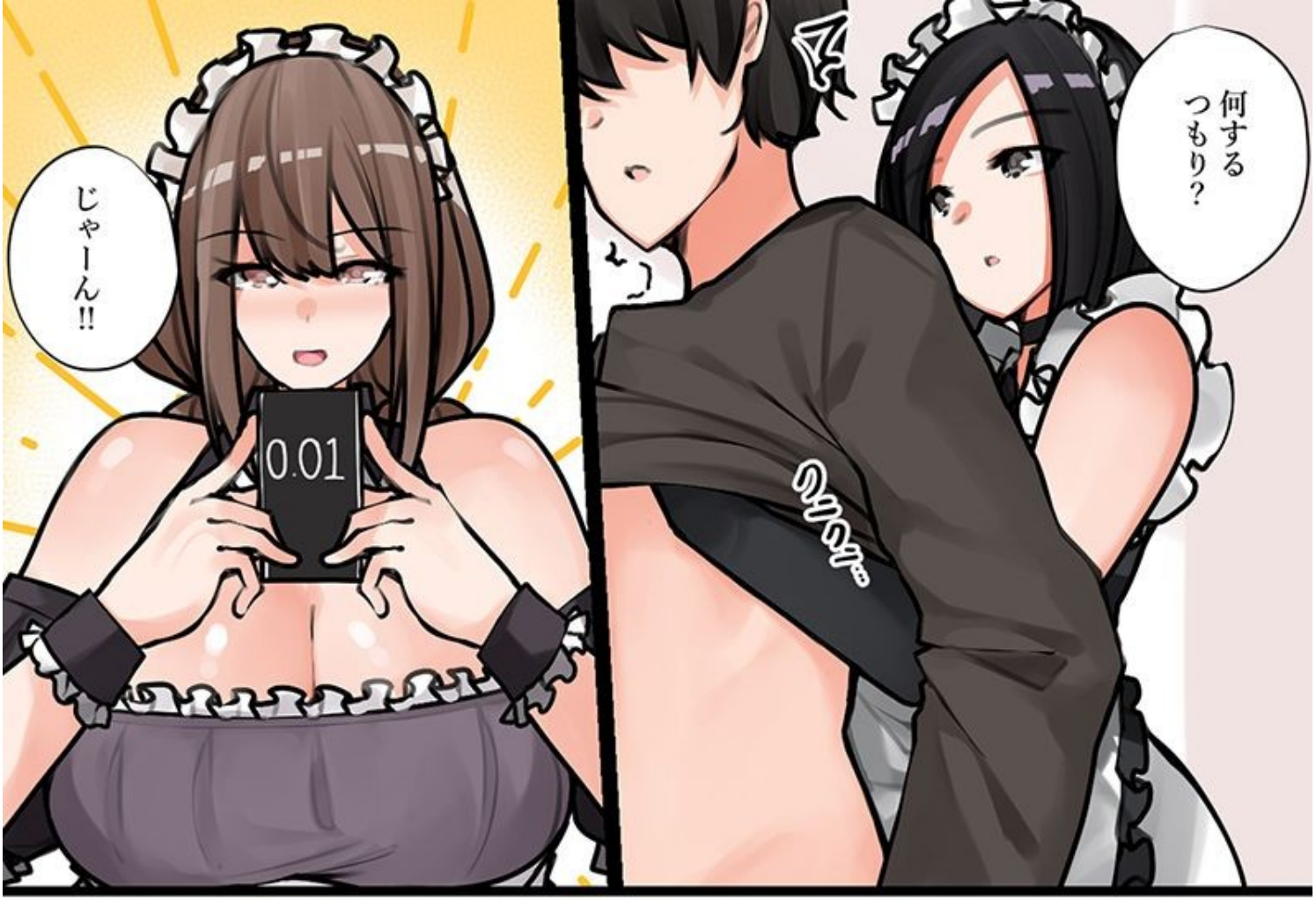

当然でしょ!!
まだまだこれから
なんだから!!
そ…
そう…
ですか―


それでは
ご主人さま
早速私から…
フゥ…
始める為には
おち○ち○
大きく
しないと…♡
ムキ…ムキ…


チュ
チュ
チュプ
チュ
気持ちいいですか？
キス……♡
あっ
ムギュ〜


これから私たち
たっくさんご奉仕
いたしますからね♡
ご主人さまの
すごく硬くて
熱い・・・♡
・・・どんどん
大きくなって
きましたよ？♡
んぁ
んっ
スリスリ

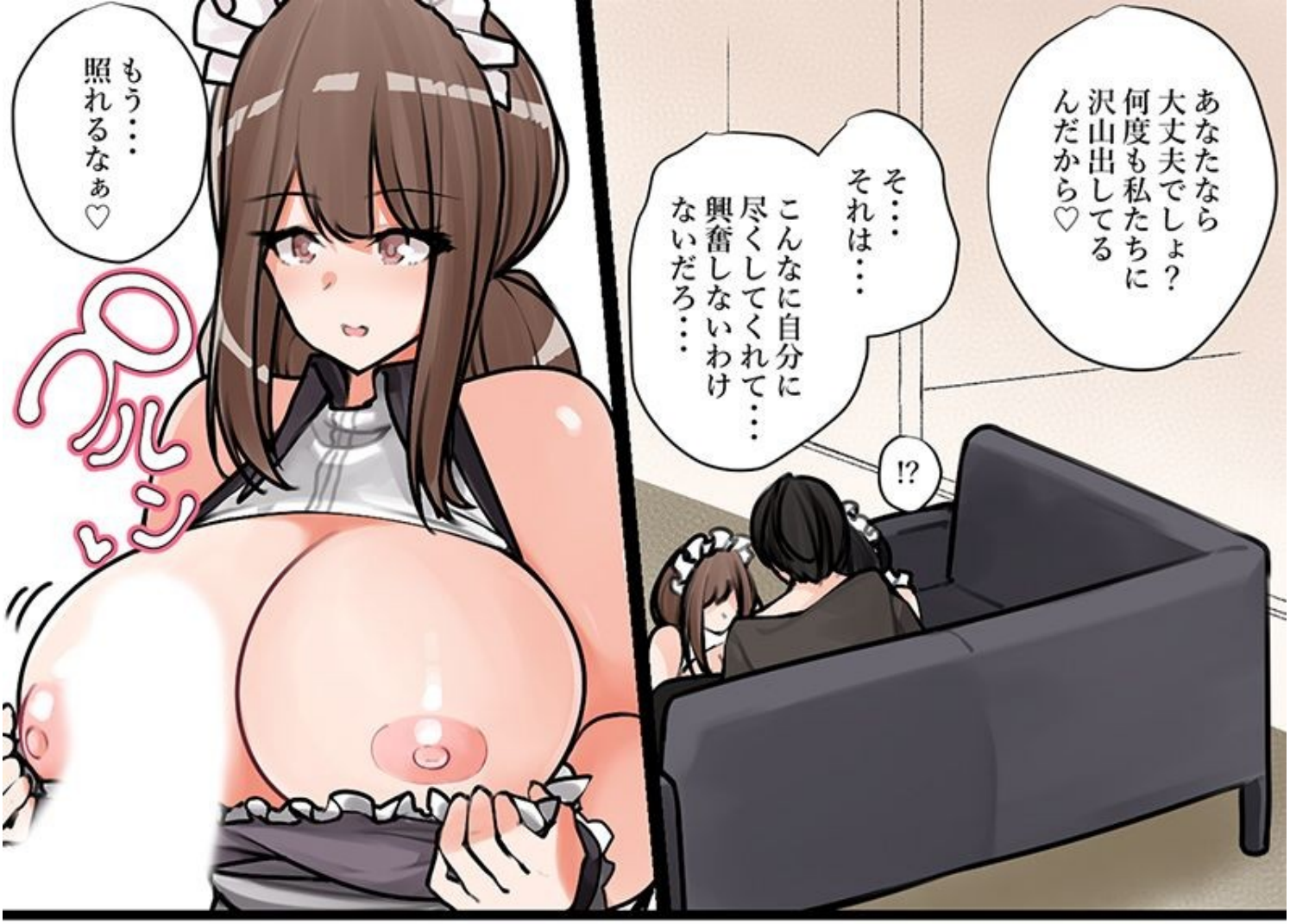

さてと―
そろそろ準備
ばっちりみたい
なので・・・
？


何するつもり？
じゃーん!!
0.01


どっちの奉仕がよかったか―
一番射精させられるかこのゴムの数で勝負よ♡


いっぱい射精させたほうが勝ち・・・
・・・まじ!?
私の方が好きだってことこれで証明してみせるわ!!
ゴクリ


あ・・・ちなみにゴムはいっぱい買っておいたから覚悟してねご主人さま♡
・・・はい・・・
ガサ
0.01
ガサッ


あなたなら
大丈夫でしょ？
何度も私たちに
沢山出してる
んだから♡
そ…
それは…
こんなに自分に
尽くしてくれて…
興奮しないわけ
ないだろ…
!?
もう…
照れるなぁ♡
プルン


ななな…
なに!?
そんなぁ…
もっと
言って？♡
グニュ
グニュ
グニュ


…言わない
可愛いなぁもう…
ふぅ…
ムニュ…
ペリッ
んん…
っ…口で!?これ…はっ…!?
はむ。
ビクン!!
クルスル


くぱぁ
ねぇ…
ここは初めて
でしょ？
もう一度私の初めて
ご主人さまに差し上げ
ます…♡
ぷにぷに
もらって下さい
ますか？

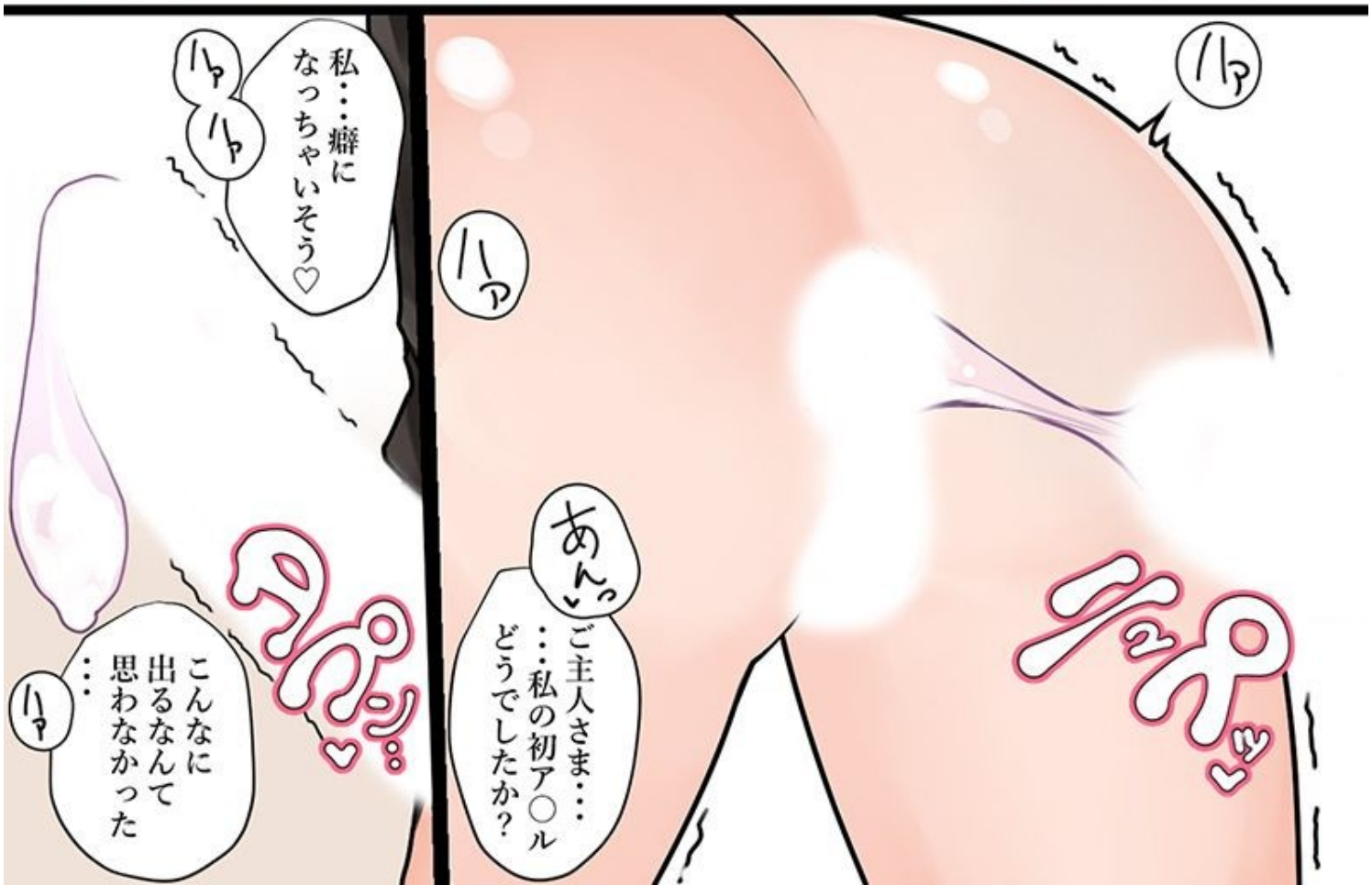

いいのか…？
いいよ♡
優しく入れてね♡
ピク
ピク
ビキ
ビキ
くはぁ
わ…私もご主人…さま…もう一度初めてもらって下さい


い…
入れるぞ…
ズブリ
ダメ…私から
なんだから
ぷにっ
き…
きっつい…!!
ズズズ…
んあっ
全部…
入った…
あん
ハァハァ
ハァ
う…うごいて
いいよ…
ズン!!

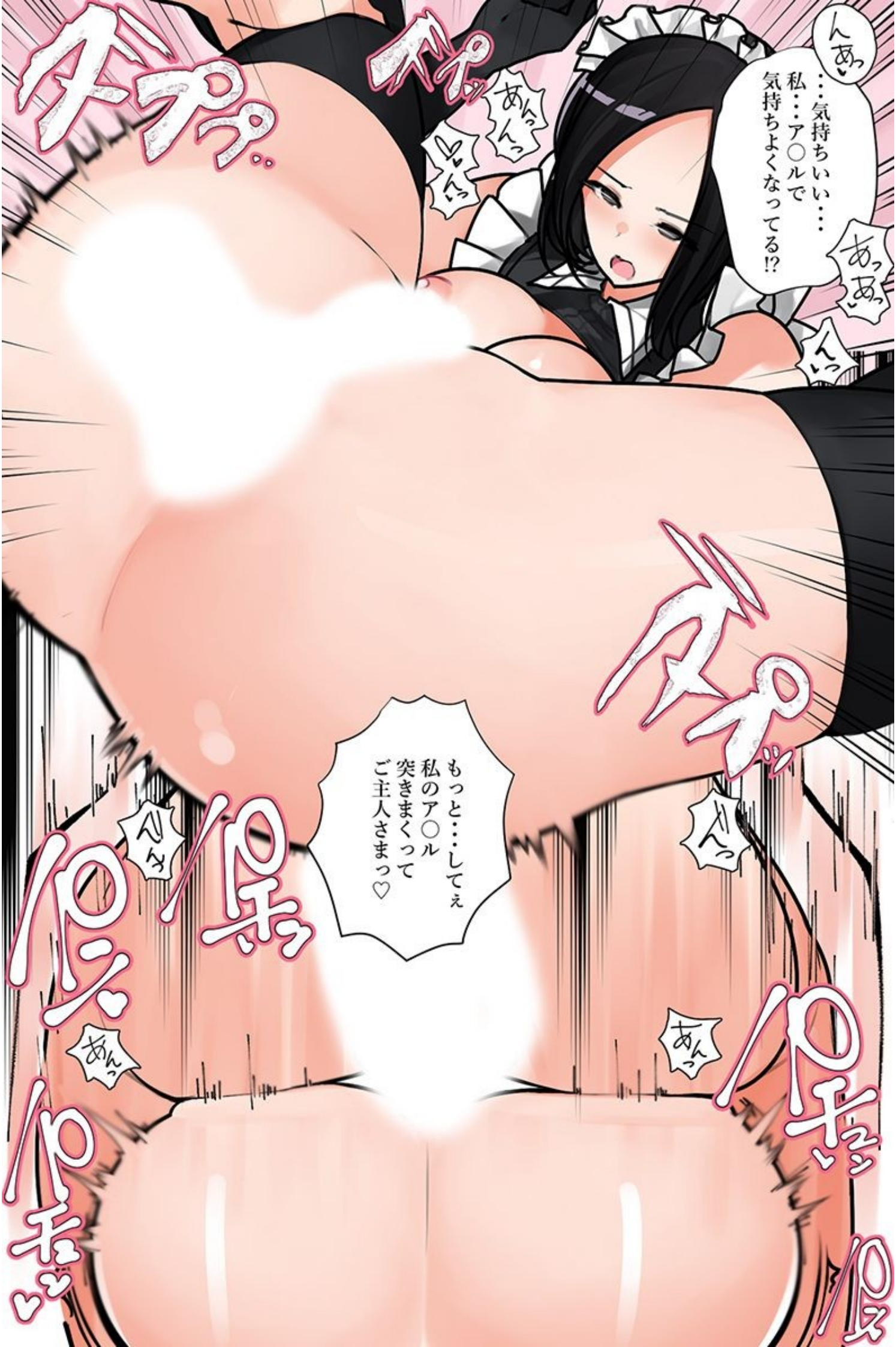

じゃあ
動くぞ…
うん…
ぐにーっ
…っす
…すごいっ
ア○ル初めて
なのにっ
あっ
あんっ
あんっ
あんっ
あんっ
パンパン
パンパン
ズチュ
ズチュ
少し…苦しい
けど…
気持ちいいっ
かもっ…♡

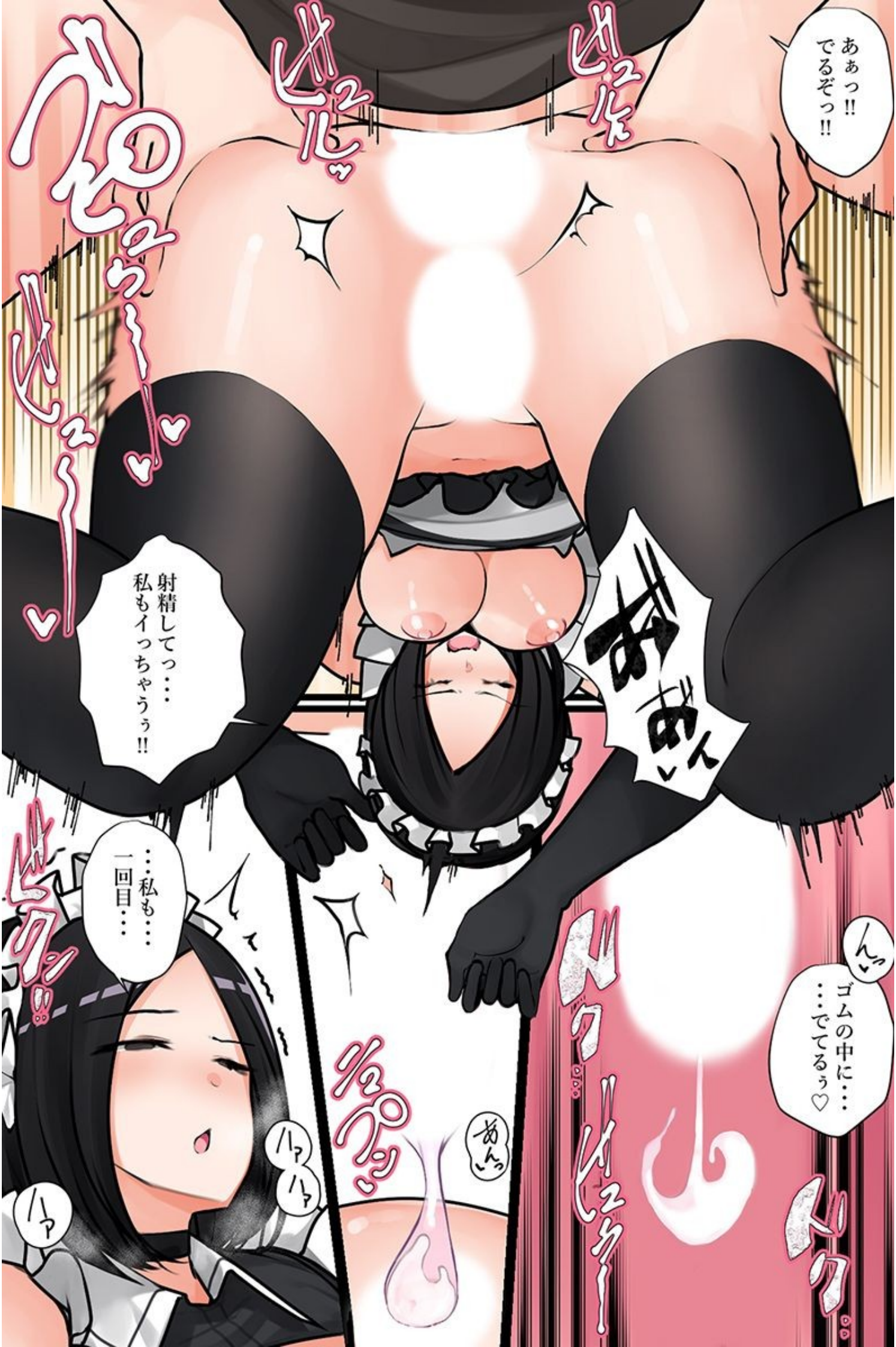

パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
想像以上にキツい…ア○ルセックスがこんなに気持ちいいなんて…っ
止まらないって…腰が勝手に動くっ…!!
んっ
あっ…激し…すぎっ
こんなの…ア○ル…っおかしくなっちゃうぅ!?
んっ
あんっ
あっ
あんっ
おち○ち○…大きくなってきたっ!?射精するのっ!?
ハァ
ハァ
ハァ
いいよっ…まず1ッ回目っ♡
い…イくっ…!!
ゾクッ
ゾクッ


締まりがぁ!!
搾り取られる!!
あんっ
脈打ってる…
中でゴムが膨らんでるのが伝わる!!
すごい
量っ…
あっ
ああん

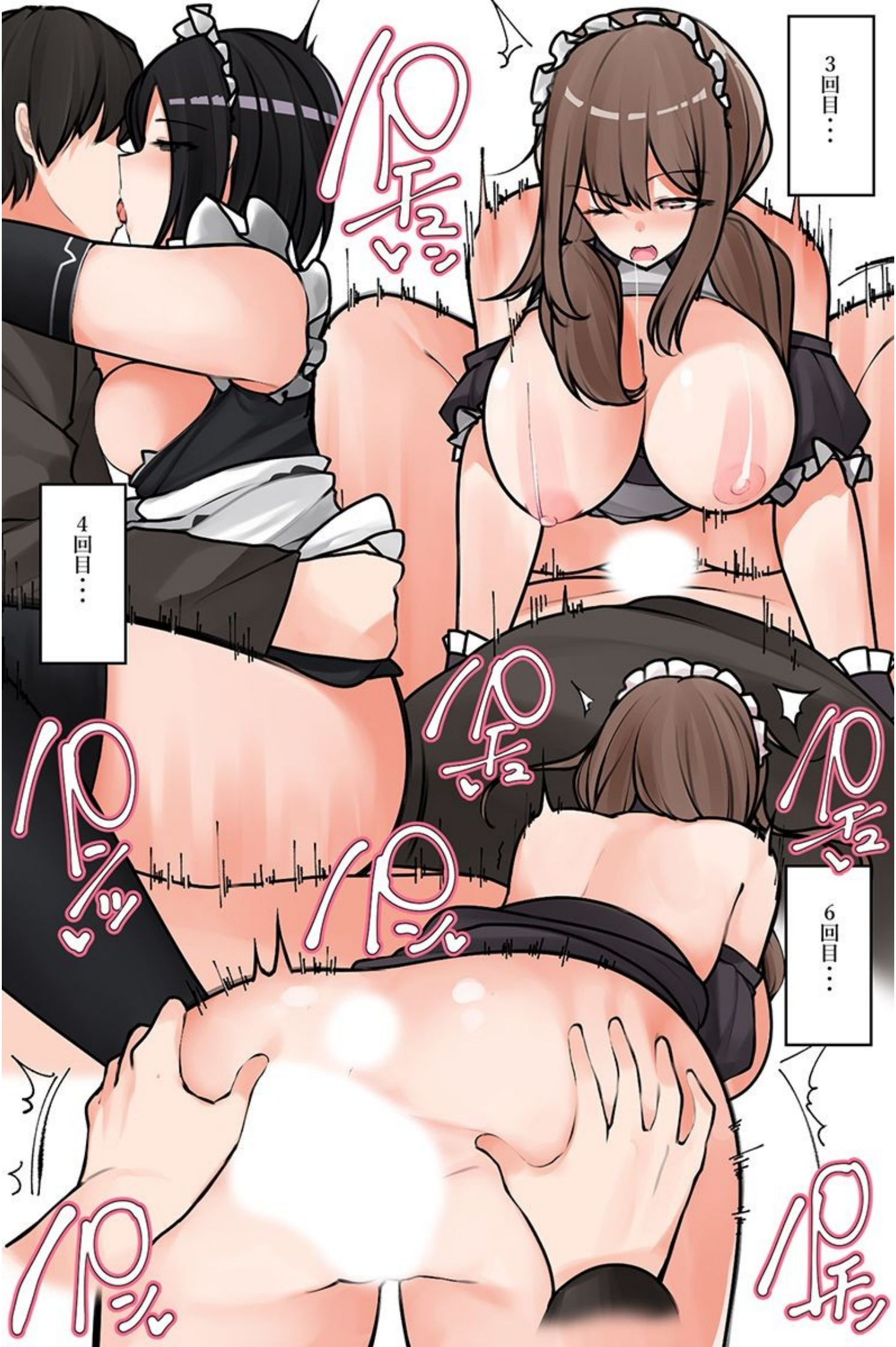

ハァ
ハァ
ハァ
私…癖になっちゃいそう♡
あんっ
ご主人さま…
…私の初ア○ル
どうでしたか?
こんなに
出るなんて
思わなかった
…
ハァ


…次は…
私ですよ
早くここに
下さい♡
私のア○ルも
ご堪能下さい
ご主人さま…♡
ぐぽぉ
ぐりっ
…っ
こっちも…
きっつい…!!
あぁんっ!!
ア○ルに
入ってくるぅ!!
中を押し広げ
てくっ!!
ぐにゅ…


んあっ
…気持ちいい…
私…ア○ルで
気持ちよくなってる!?
あっあっ
あんっ
んっ
あんっ
もっと…してぇ
私のア○ル
突きまくって
ご主人さまっ♡
あんっ
あんっ


あぁっ!!
でるぞっ!!
ヒュルル
ヒュルル
ヒュルル


休んでる場合じゃないですよご主人さま♡
勝負は始まったばかりです
とろー
ハァ
ハァ
まだまだ大きいままじゃないですか♡
ほんとだ…すごい…
待て!? ちょっと休憩を…っ
ゴムたくさん買ってあるからね
こんなにガチガチなんだもん♡さっそく第二回戦始めますよ
ご主人さま♡
んん…
私にも早く代わってよね


3回目…
4回目…
6回目…


あれ？
ゴムもう
なくなっ
ちゃった？
んっ
あっ
あん
ズプッ
8回目・・・
パン
パン
パン
パン
ズチュ
最後は
ナマでっ♡
中に全部
出してぇ♡
限界まで
とろとろ
マ○コで
搾り取って
あげる♡
ズチュ
全部中に
注ぎ込んで♡
10回目・・・
もう出ないと
思ったのに・・・
すぐイきそうだ・・・っ
イかされる・・・
パン
ズチュ

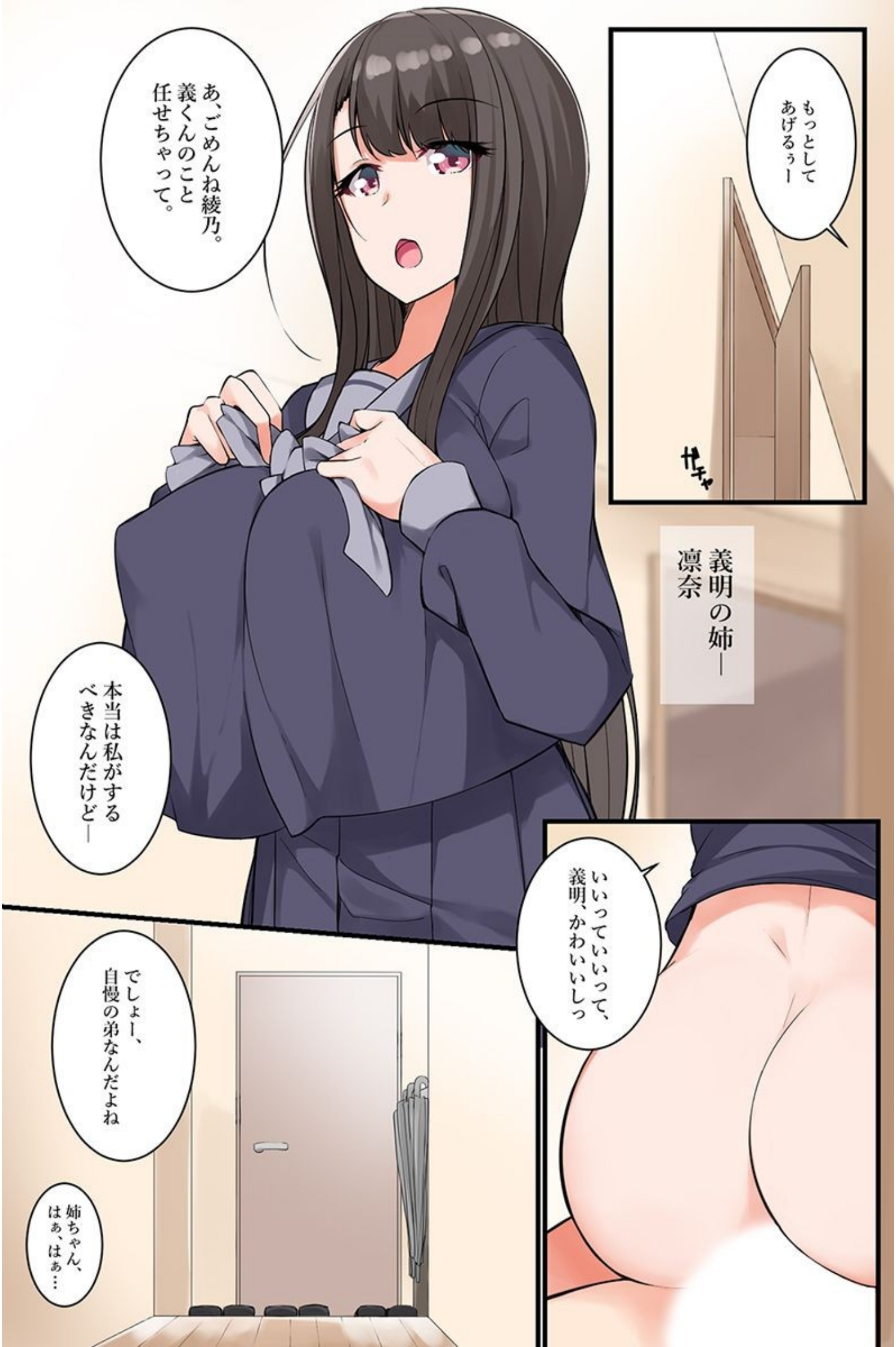

ドピュ
熱いのが流れてきたぁ…
―中出し…気持ちいい♡
ドピュ
ハァ
ハァハァ
ハァハァ
ハァ
ビュルン
…お腹いっぱい…
ハァ
ハァ
も…もう無理…
ハァ
バタン…
ドピュ
ビュッ…


こんなにたくさん
頑張ってくれて・・・
どっちが勝ったか
わからないよ
きっともう私たち
これからも3人仲良く
やっていけそうな
気がする・・・
ねっ
ご主人さま♡


弟とビッチな姉たちの性活。
フルカラーコミック♥
エッチ大好きなお姉ちゃんたちの超絶テクで毎日性処理してもらっています♥♥




今日の時間割はっと…
うげぇー数学あんじゃん。
行く気失せるぅ…
姉の友達—
綾乃
擦り合わせてる
だけなのに、
気持ちい？
はぁ
綾乃さん、綾乃さんっ、
ぞくぞくするっ
はぁ

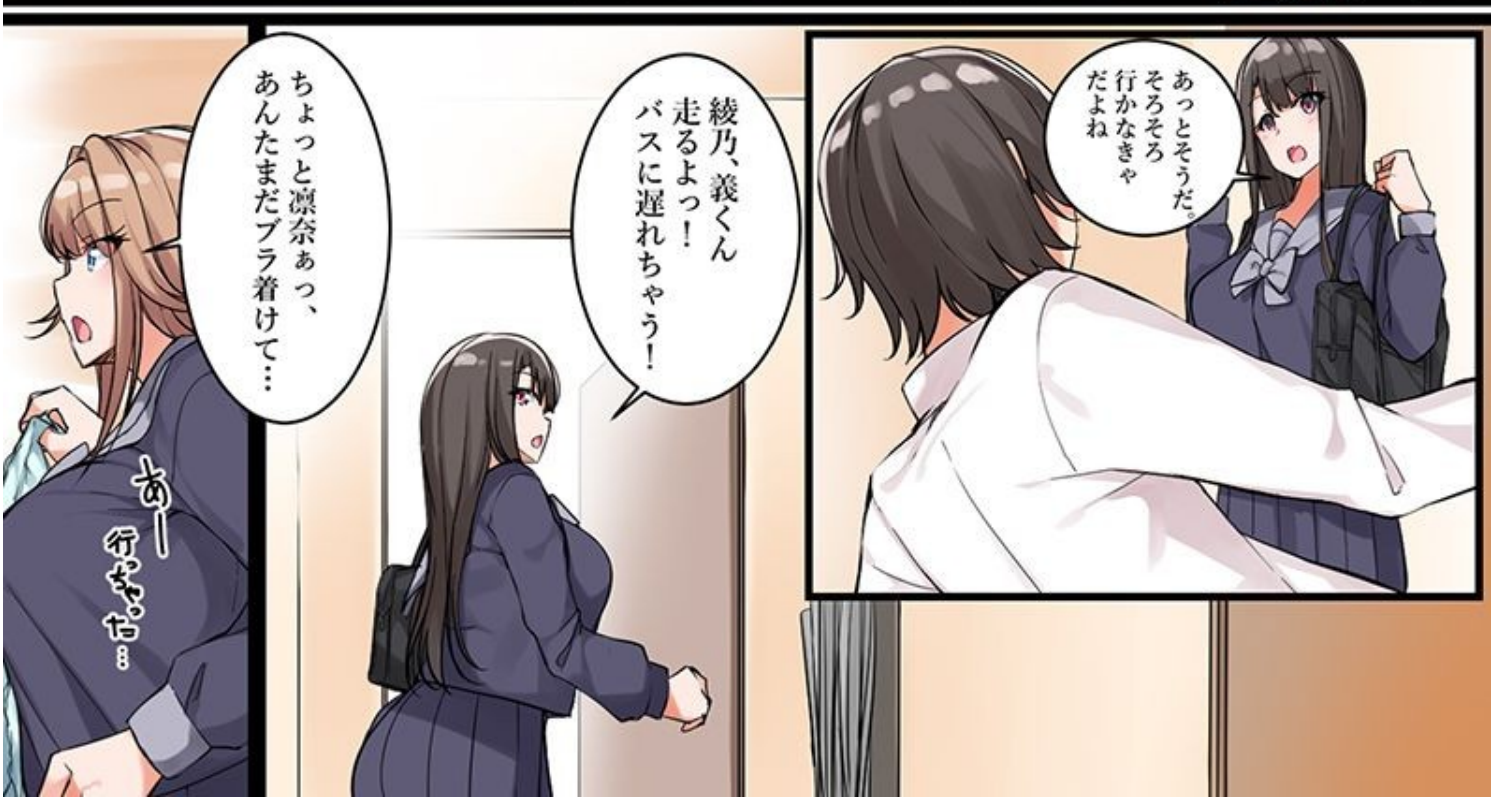

もっとしてあげるぅー
ガチャ
義明の姉—凛奈
あ、ごめんね綾乃。義くんのこと任せちゃって。
本当は私がするべきなんだけど—
いいっていいって、義明、かわいいしっ
でしょー、自慢の弟なんだよね
姉ちゃん、はぁ、はぁ…


ん？揉み揉みしたいんでしょ？
いいよ、まだブラ付けてないから
とる～
よいしょ!!
んぐっ…


むにゅ♡
むにっ
柔らかいし、
あったかいぃ…っ
あは、朝から幸せ
だよねぇ義明は。
あたしに素股されながら、
凛奈の胸を揉むなんて
…うん。
幸せ


ほらほら、
いかせちゃうぞ？
ああぁぁぁっ、
いっ…
でるっ!!
ビクッ
ビュルルッ
おおっと、
しっかり手で
受け止めてぇ…
ふふふ、
朝からたっぷりだねぇー
ビクン
ビュルッ
NIプッ


義くんの濃くて、量も多い…
どろ～
んちゅっ♡
あー
自分だけずるぃ、
はむっ♡
ちゅー
ちゃぷ
ちゃぷ♡
んんっ

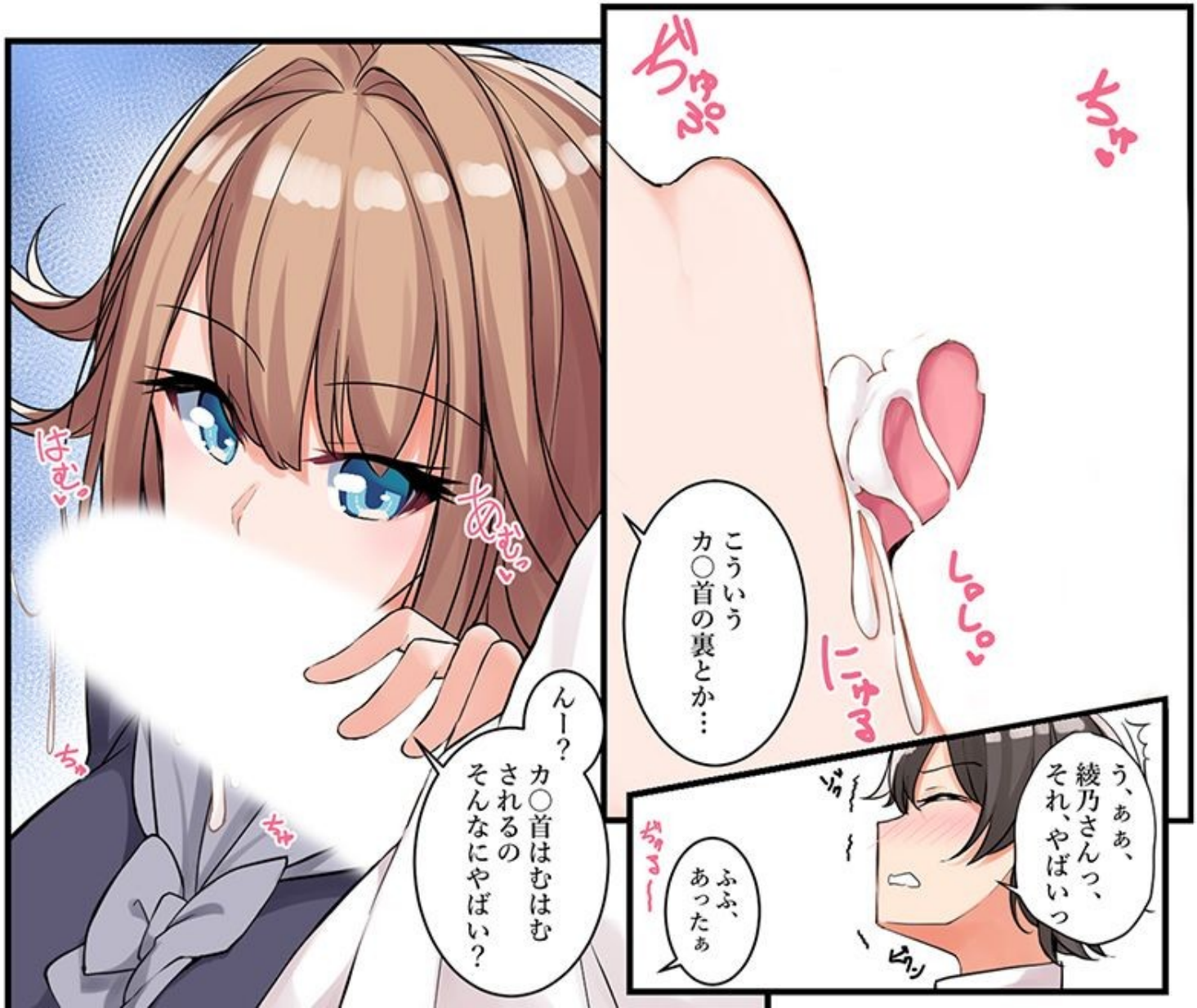

あっとそうだ。
そろそろ
行かなきゃ
だよね
綾乃、義くん
走るよっ！
バスに遅れちゃう！
ちょっと凛奈ぁっ、
あんたまだブラ着けて…
あー
行っちゃった…


学校(屋上)
うんうん
それでさー、
バスに乗ったのは
いいんだけどさー……
そうそう…
でね、
あぁ、
きもちぃぃ…
姉ちゃんの手
やらしい動きで、
ゾク
ゾク
ゾクゾク
綾乃さんの舌も
ねっとりしてて、
すぐいっちゃいそう…!!
ビク
ちゃっ
ちゃる


にゅる
レロ〜
ちぷ
ぢょ〜
何人もあたしのこの舌技で
骨抜きにしてきたからねぇ
にゅぷ
ちゅ〜〜
ちゃ
ちゅぷ
そろそろ、
限界……っ
グチュグチュ
シコシコ
シュシュ
いいよ、義くん。
お姉ちゃんにいっぱい
かけちゃって
ゾク
ゾク
ぱぁ
はぁ
いつもみたいに
飲んであげるから、
気にしないで
出しちゃいなぁー。
ちゅぷぷ〜
ちゅっ
ちゅ


ビッ
あむっ
ビュー
んぐっ…
ん…
ビクッ
ビュッ
めっちゃ
いっぱい出たねぇ
はー
はー
トロー
手、どろどろ…
えっちな精子で
ぬるぬるだぁ


ね、ねぇ…
綺麗に…して。
だめかなぁ？
いいよ。
義くんのおち○ちん、
お姉ちゃん達が
綺麗綺麗にしてあげる♡
ちゅぱ
しこしこ

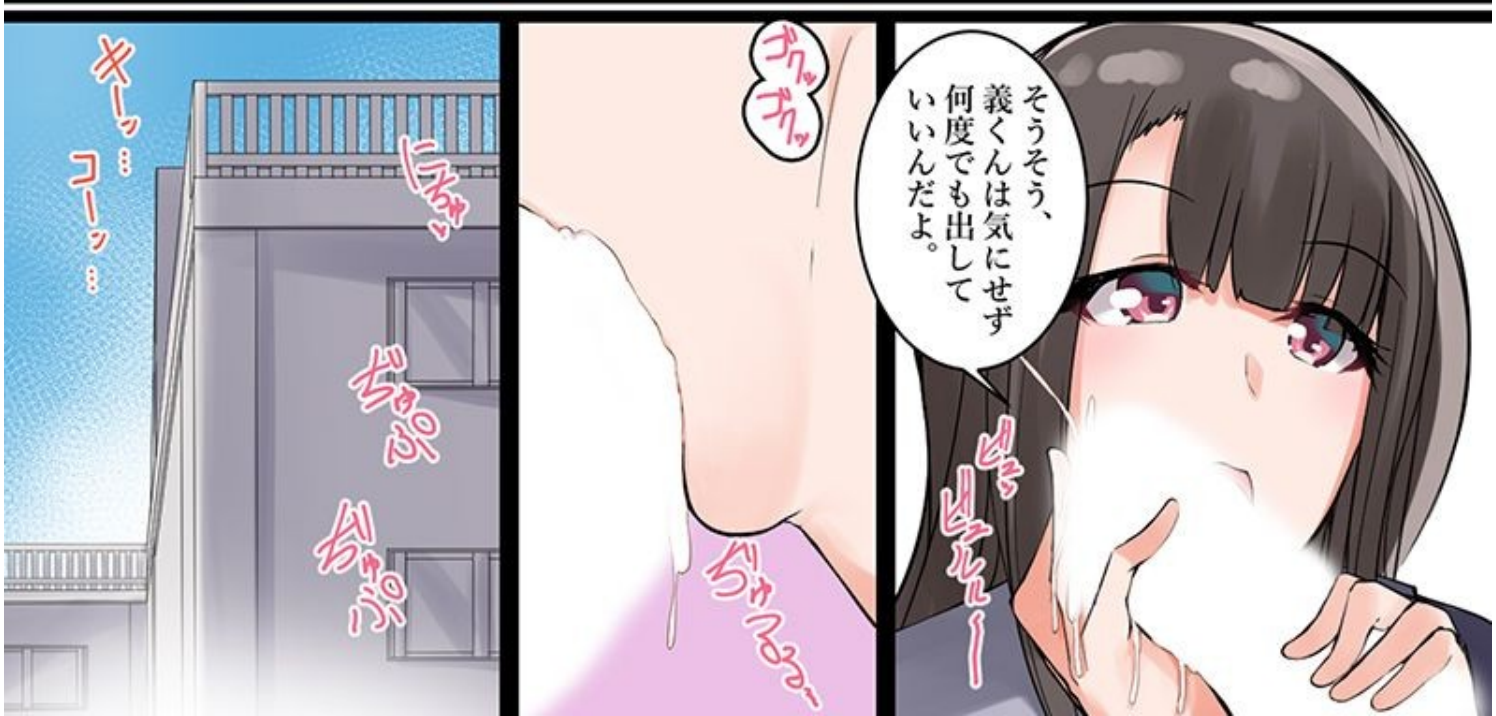

ちゅ♡
ぺろ♡
にゅる
こういう
カ○首の裏とか…
う、ぁぁ、
綾乃さんっ、
それ、やばいっ
ふふ、
あったぁ
ちゅる〜
はむ♡
あむっ♡
ちゅ
んー？
カ○首はむはむ
されるの
そんなにやばい？


はぁあっ、
うぅっ腰……
浮いちゃうって
義くんの
おち○ち○
まだびんびん
だねー
お掃除フ○ラ
されてもっかい
出ちゃうかなー？
あぁぁっ!!
凛奈ぁ、
次の授業
なんだっけ？
ん？
えーっと、…
数学だったはず
うぇ……
マジ？
数学かぁ…
嫌だな…
バックレ
ちゃおうかな。


もう、
またサボり？
あむっ
ちゅうう～
ゾク
進級できなく
なっても
知らないよ？
ゾク
いいよ、ダブっても
義明と同じクラスに
なれるかもだしー
ちゅぷ
あーずるいっ、
それなら
お姉ちゃんも
ダブっちゃ
おうかなぁ
にちゃ
ぢゅる
ぢ


義くんは優しいなぁ。
義くんも心配してるし、
綾乃はちゃんと授業
出るんだよ？
ダブったら、
だめだからね？
あーはいはい、
凛奈怒らせると
ご飯大変なことに
なるからねぇ…
ちゃんと
出るよ…
はむ
はむ
ぢゅる
ぢゅる
もう、
むりぃぃ
いくっ！
うっ…
二人共…
そういうのは
だめ、だよぉっ
ぱー
ぱー
ビクン


あぁ――義くん？
またお掃除しなおし
じゃーん。
いいのいいの、
凛奈とこの綾乃さんに
任せなさーい。
また綺麗にして
あげるって。
はぁ、
はぁ。
ご、ごめん、
なさい……っ


そうそう、
義くんは気にせず
何度でも出して
いいんだよ。
ゴクッゴクッ
ぢゅるるー
にちゃ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
キーッ…
コーッ…

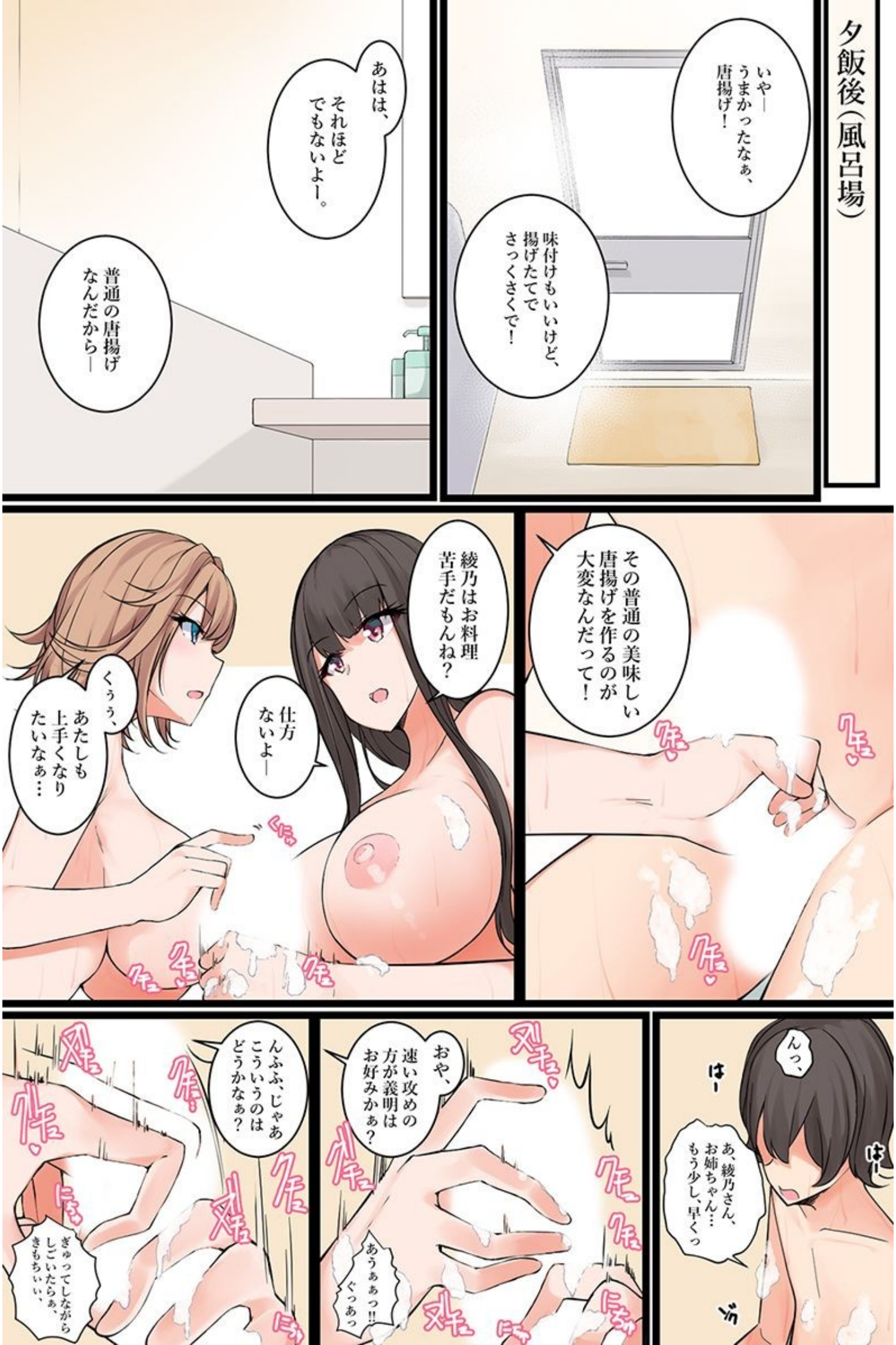

放課後（体育準備室）―
ガヤ
ガヤ
抜かないと帰れないぃー
なんてぇ、
義明も可愛いこと
言ってくれるよね？
まだ着替えて
ないけど
たまには新鮮で
いいかも―
んふふ、
義くんのそういう
おねだり。
お姉ちゃん好きだなー。


あ、そうだ。
晩御飯
何がいい、
二人とも？
ひにゃ♡
唐揚げかー
そうねー
いいねぇ。
よし、凛奈
そうしよっ
そうだ、ね、
うっ…
唐揚げとか
いいかも…


確か鶏肉が少し冷蔵庫にあったはずだから…
帰りにお肉屋さんに寄って、足りない分を買い足そっか
ぼく、お姉ちゃんの唐揚げ……好き、なんだっ
ふふ、本当？
んふふ、義くんが喜んでくれるならお姉ちゃん、頑張って料理しちゃうよっ
ゾク
ゾク
はー
はー
ゾク
ゾク

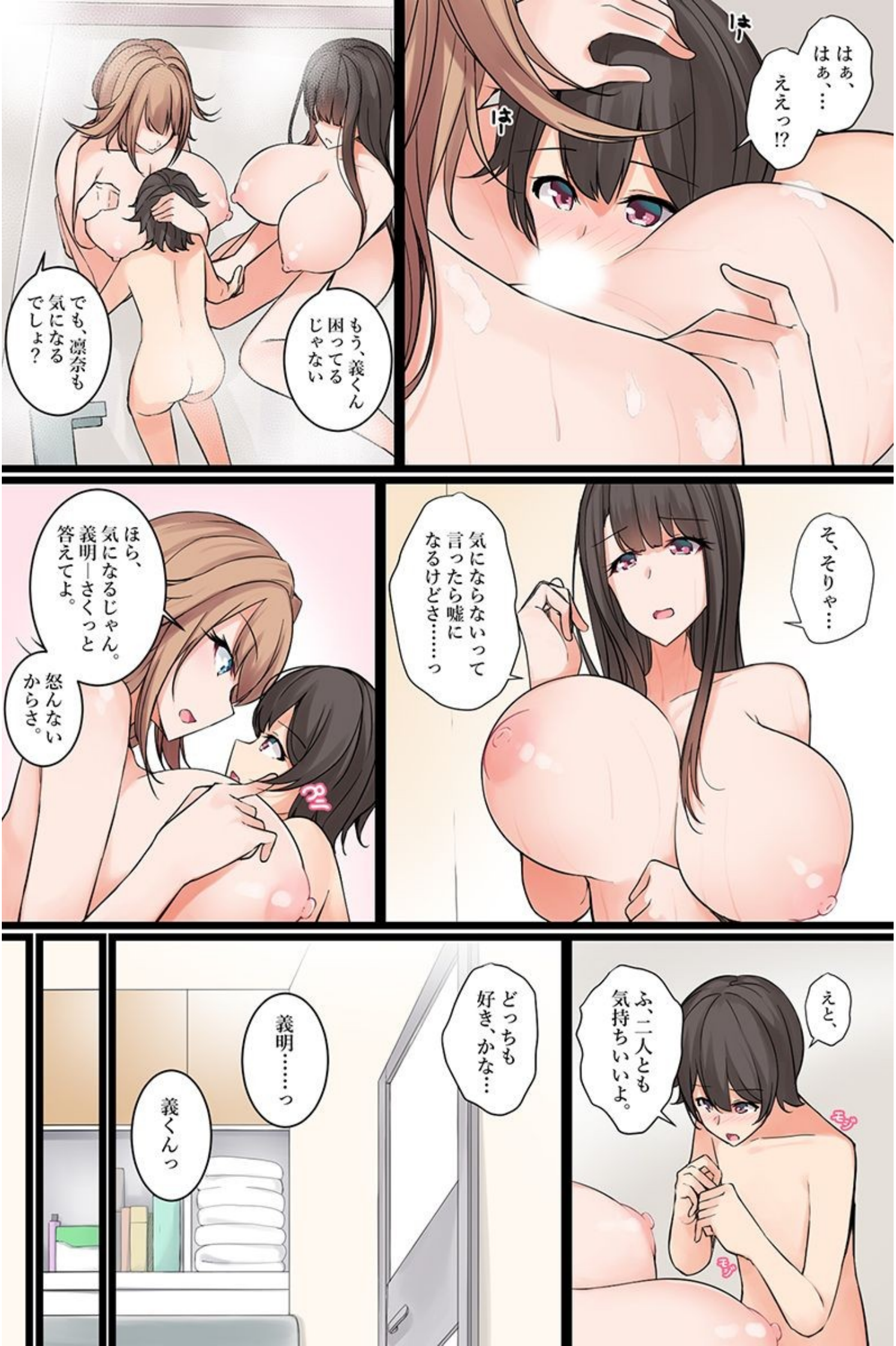

凛奈の料理は美味しいからなぁ―
何杯だっていけちゃうって
じゅる…
それは嬉しいけど、綾乃、あまり食べ過ぎると…
ムニュ
ムニュ
ムニュ
あぁぁ―もう、そういうの言わないでよっ！気にしないようにしてたのにっ
義くんっか、かわいい
ムニュ
はぁ、
ぼくは、うっ、あぁぁぁ、二人のおっぱい……好きだよ？
はぁ、
ムニュ
ムニュ
嬉しいこと言ってくれたお礼にほらっ、激しくしちゃう！
はー
はー
ムクッ
いっちゃえ、いっちゃえ！
ムニュ
ムニュ
ああ、あ、あ、で…るぅぁっ！
ムニュ
ムニュ


あ、いっぱい出たねぇ、これで帰れるかなぁ？
帰る前にきれいにしなきゃ、でしょ？
ビュルルー
ビュッ
ビュルル
ビュルルー
ビュッ
ゴッ
ゴッ
ぱんぱん
ぱんぱん
ぱんぱん
ぱんぱん
…うんっ。
はぁはぁ
ぢゅるるー

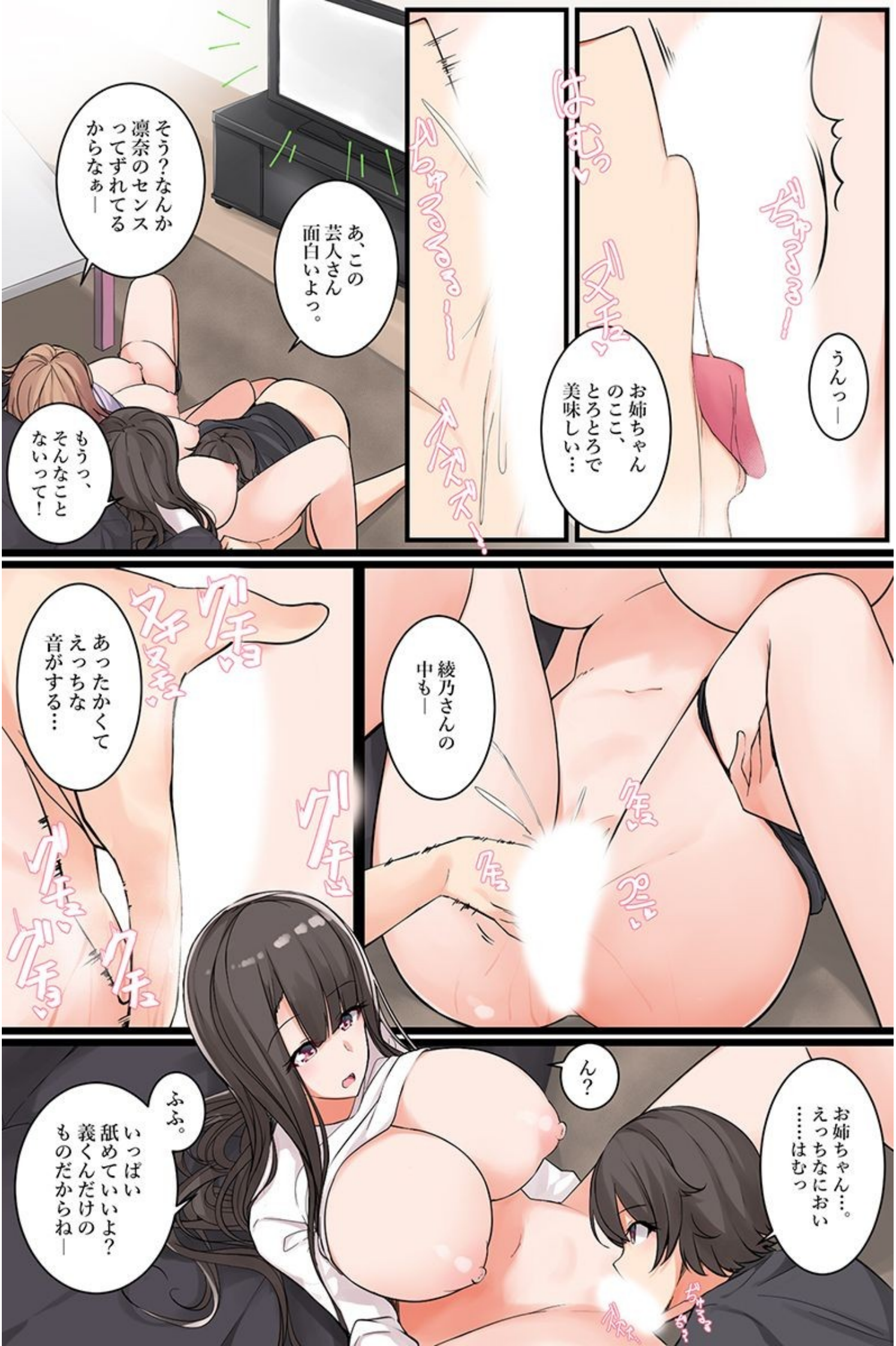

夕飯後（風呂場）
いやー
うまかったなぁ、
唐揚げ！
味付けもいいけど、
揚げたてで
さっくさくで！
あはは、
それほど
でもないよー。
普通の唐揚げ
なんだからー
その普通の美味しい
唐揚げを作るのが
大変なんだって！
綾乃はお料理
苦手だもんね？
仕方
ないよー
くぅぅ、
あたしも
上手くなり
たいなぁ…
んっ、
はーい
あ、綾乃さん、
お姉ちゃん…
もう少し、早くっ
おや、
速い攻めの
方が義明は
お好みかぁ？
あうぁぁっ!!
ぐっあっ
んふふ、じゃあ
こういうのは
どうかなぁ？
ぎゅってしながら
しごいたらぁ、
きもちぃい、


義くん気持ちよさそう。
よーしお姉ちゃんもっ
いいっ！すぐ、いっちゃ、でちゃ…うぅっ！
はーい
はーい
さっきの話の続きだけど、凛奈、唐揚げって隠し味いれるの？
隠し味？あー…しょうがとか、人によっては砂糖とか色々入れるかな。
でもなんで？
今度作るときにその隠し味を入れたら、美味しくなるんじゃないかって思ってねぇ

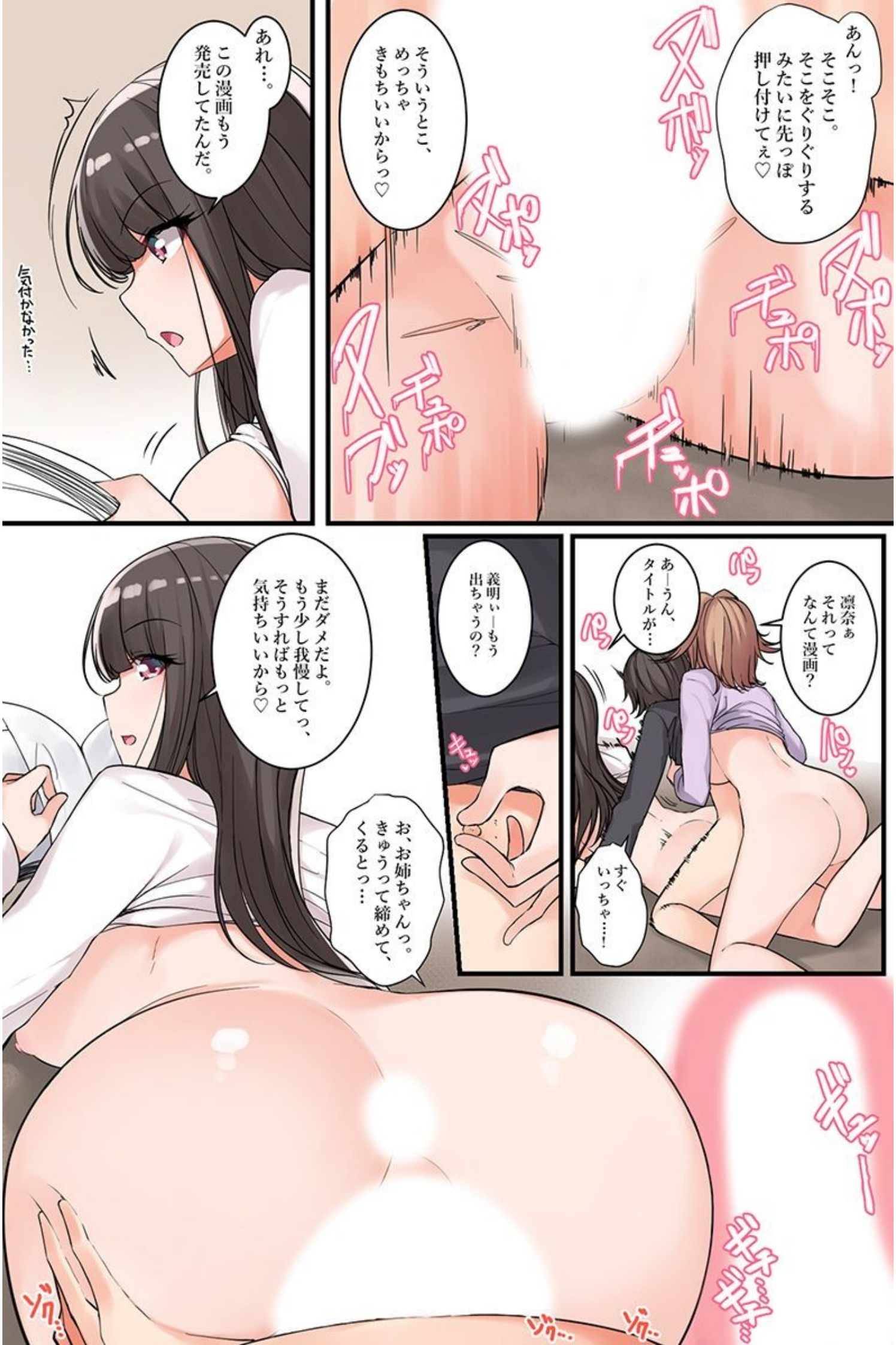

凛奈ぁ、
今度一から
教えてよぉ…
わかった、
教えてあげる。
一緒に美味しいの
作ろっ。
やったぁ。
持つべきものは
親友だねっ
あ、出たねぇ。
ねえ、義明？
凛奈とあたしどっちが
気持ち良かったぁ？
うっ、もう、
出るぅぅっ!!

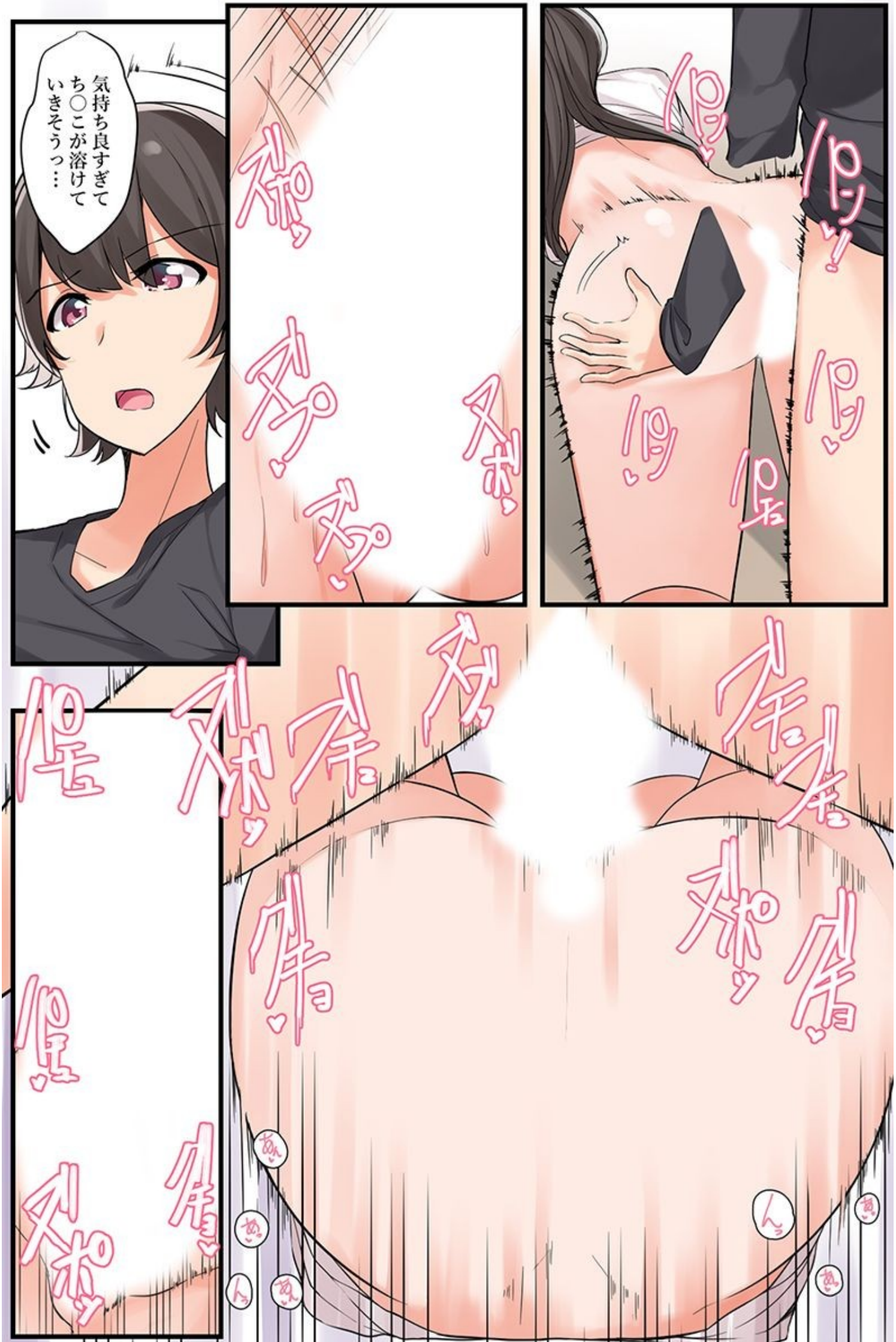

はぁ、
はぁ、…
ええっ!?
はー
はー
もう、義くん
困ってる
じゃない
でも、凛奈も
気になる
でしょ？
そ、そりゃ…
気にならないって
言ったら嘘に
なるけどさ……っ
ほら、
気になるじゃん。
義明―さくっと
答えてよ。
怒んない
からさ。
えと、
ふ、二人とも
気持ちいいよ。
モゾ
モゾ
どっちも
好き、かな…
義明……っ
義くんっ


リビングー
義明ー
テレビ観てるけど好きにしていいからねぇ。
義くん、どうぞー
ひぇ、
ぶるん
ぶるん
ひぇ


うんっ―
お姉ちゃんのここ、とろとろで美味しい…
あ、この芸人さん面白いよっ。
そう？なんか凛奈のセンスってずれてるからなぁ―
もうっ、そんなことないって！
綾乃さんの中も―
あったかくてえっちな音がする…
お姉ちゃん…。えっちなにおい……はむっ
ん？
ふふ。いっぱい舐めていいよ？義くんだけのものだからね―


テレビ…終っちゃったなー
ピン、ピン
ぷにゅ
んんっ…もう少し早くしてっ
パン、パン、パン、パン、パン
ん、いいよ、そうそう…
はー
はー
はー
ズチュ
ズチュ
お姉ちゃん、ぐじゅぐじゅで、すっごいきもちいいっ！
うんっ。わかった！
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ


あんっ！
そこそこ。
そこをぐりぐりする
みたいに先っぽ
押し付けてぇ♡
ヌポッ
ヌポッ
ヌポッ
ヌポッ
ヌポッ
そういうとこ、
めっちゃ
きもちいいからっ♡
あれ…。
この漫画もう
発売してたんだ。
気付かなかった…
凛奈ぁ
それって
なんて漫画？
ぱっ
ぱっ
ぱっ
ぱっ
あ―うん、
タイトルが…
すぐ
いっちゃ…！
義明ぃ―もう
出ちゃうの？
キュッ
まだダメだよ。
もう少し我慢してっ、
そうすればもっと
気持ちいいから♡
お、お姉ちゃんっ。
きゅうって締めて、
くるとっ…
ヂュー
ヂュー
ゾク…
ゾク…
ゾク…


パン!
パン
パン
パン
ズポ
ズポ
ズポ
気持ち良すぎて
ち○こが溶けて
いきそうっ…
ズポッ
ズポッ
ズポッ

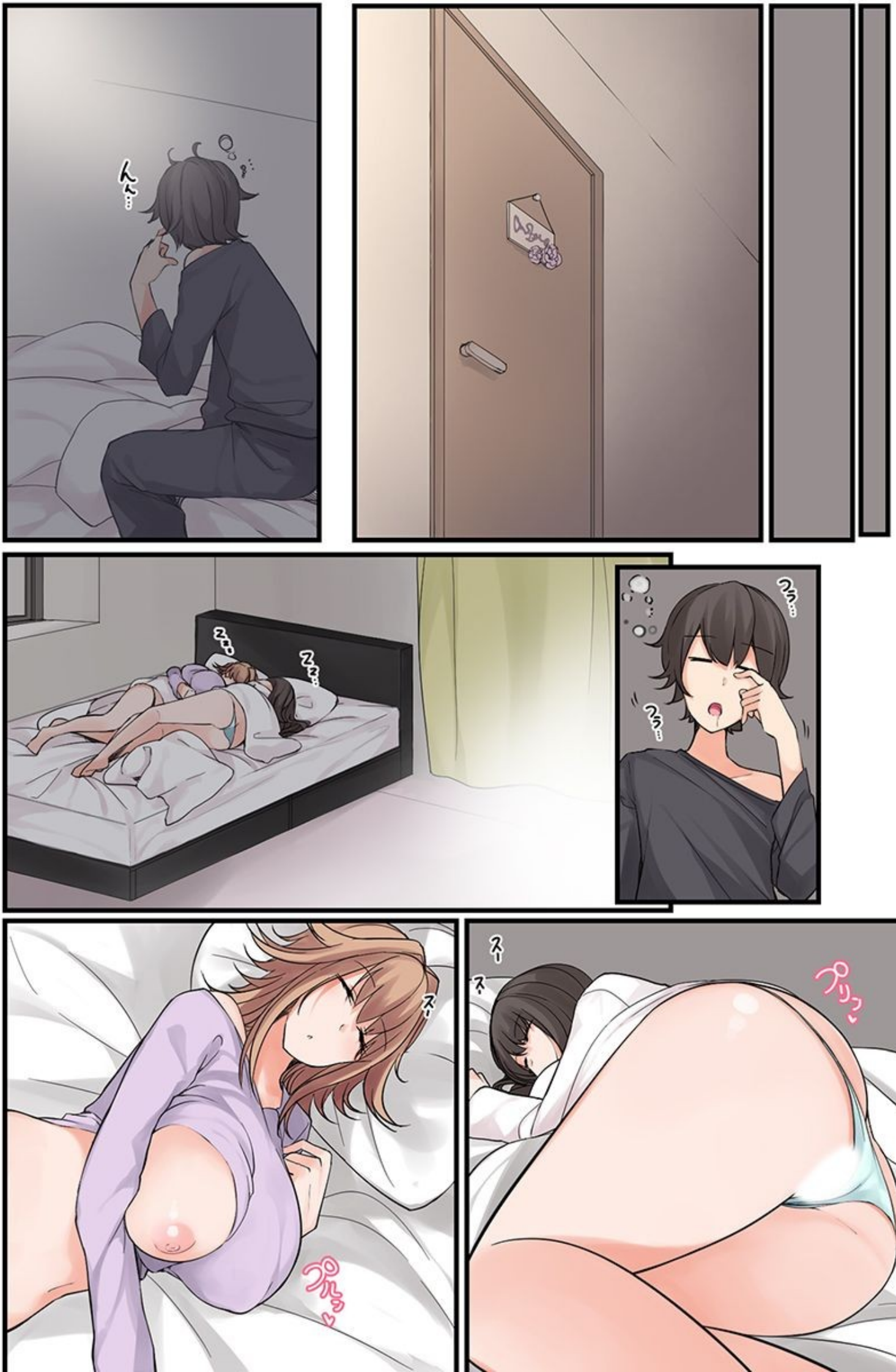

我慢しすぎて…
おかしくなりそうっ
うぅっ……
お姉ちゃんの
中にっ…
出したいっ!!
義くん？
もう限界？
あっ
んっ
んっ
あっ
あっ
パチュ
パチュ
パチュ
パチュ
お姉ちゃんっ…
出して…いい？
は
は
は
パチュ
パチュ
パチュ
イクよっ…
お姉ちゃんっ
ビュルルル
ビュルルル
ビュー
いいよっ。♡
あっ
すごい
義くんの好きなだけ
おま○この奥に
びゅーってして♡
オセます
ビクビク


よし、次は綾乃だよね。
義くんセッ○ス練習のおかげでどんどん上手くなってるよ。
よかったね。
おいでぇ、義明ぃ？
うんっ、お姉ちゃん達のおかげだよ。ありがとう。
綾乃さんっ、
綾乃さんっ！
はーはーはー
とろ〜
ぷるん
ぷるんっ
パンパンパンパンパンパン


正常位でしていい？
―いいよ。
料理系のバラエティってさ、視聴者でも一緒に料理楽しめるようにならないかなぁ…
あ…義明―もうちょっと奥きて。
う、うんっ…こう？
そうそう、上手上手。
観てる側だけさ、なんかお預け食らった感じない？
ん？どういうこと？
あっ姉ちゃん!!


そうだけどさ…
そのうち香とかわかったりしてね。
うんっ
パン
パチュ
綾乃はたまによくわからない発想するよね。
ブチュ
もう、でちゃ、うぅ…いい？
綾乃さんっ
あっ
あんっ
パチュ
うん、って、でるぅぅぅっ！
ヒュルルル～
あんっきてるきてる♡あっついのドクドクいってる♡
オッケー。びゅびゅっって出しちゃえ？


ふふ…
最後の
一滴まで
……ね♡
義明もう
スッキリした
みたいだよ。
そうねぇ。
じゃあもう
そろそろ遅い
から寝よっか。
はー
はー
はー


んん…
ZZZ…
ZZ…
うう…
うう…
スー
スー
プリっ♡
スー
プルっ♡


ゴクリ…


スー
……
はぁ…
はぁ…
お姉ちゃん…
ん…
ぶち
ぶち
ぶち


うぅん？いいよ…
したくなっちゃったんでしょ…？
はぁ
はぁ
キュン
お姉ちゃんっ!!
ビクン
あっ
あっ
中でまた…大きくなった
ドク
お姉ちゃんのおま○こ…好きにしていいよ…♡
ズボッ
ジュポッ
ズボッ
ジュポッ
ズボ


パン
パン
ズチュ
ズチュ
パチュ
パチュ
パチュ
パチュ
ギシ…
ギシ
お姉ちゃんのおっぱい…っ
ちゅ
はー
レロ～
はー
…。おいしい？
…うん
ちゅぱー
…っそ♡
ズッ
ズチュ
ズポッ
ズッ
ズチュ
ズッ

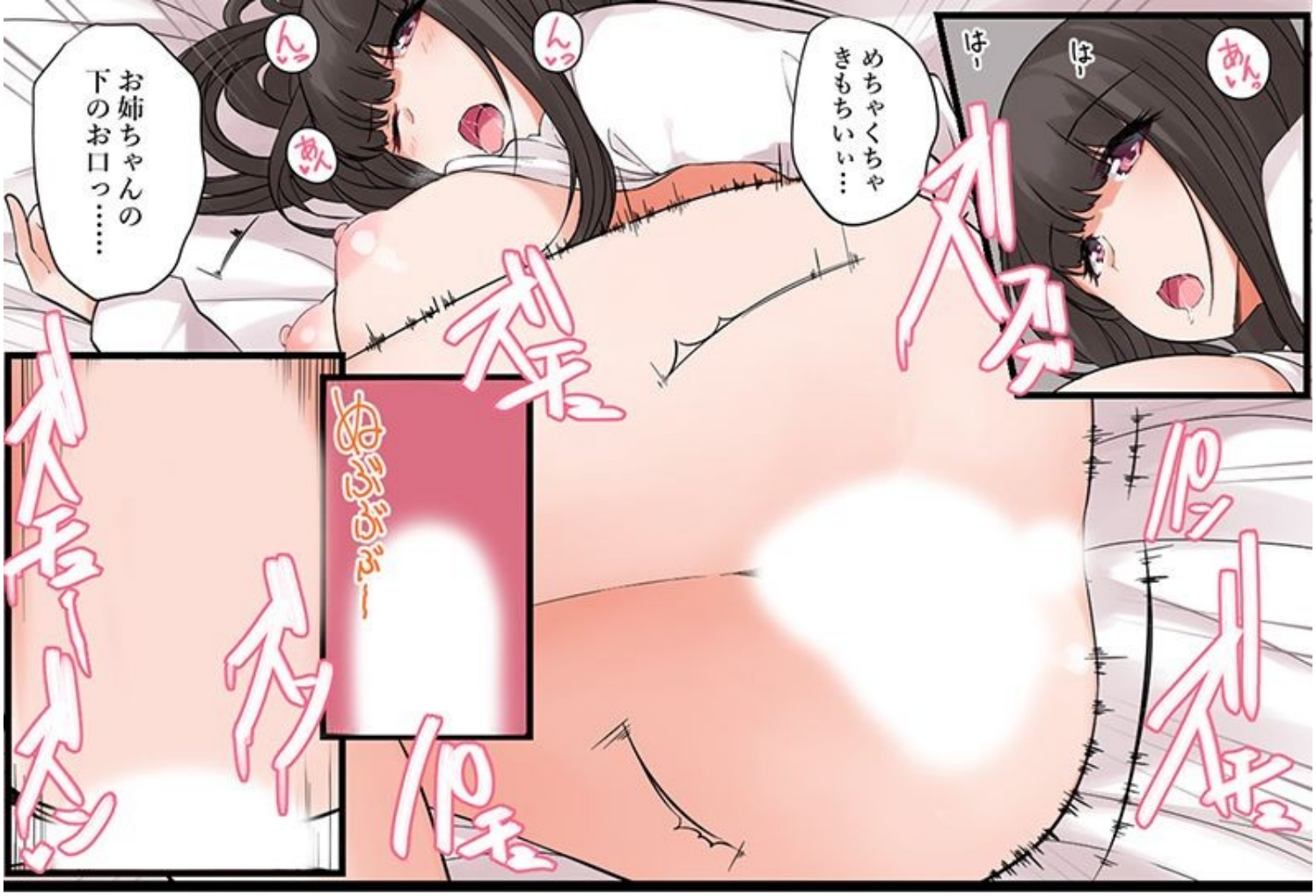

中とろとろになってて…絡みついてくるよ
にゅぷぷぷぷ…
んっ
はー
はー
あっ
あんっ
ブルン
ブルン
パン
パン
パン
パン
パン
パン
お姉ちゃんっ
お姉ちゃんっ!!
ギンギン
ギギ…
ギ…
ん…


んっ！
ふら…
ふら…
…私も…
欲しいなぁ♡
後ろからいっぱい
突いてぇ。
ほらぁ、
ここだよぉ♡
ちら
…うん
綾乃さん。
くぱぁ

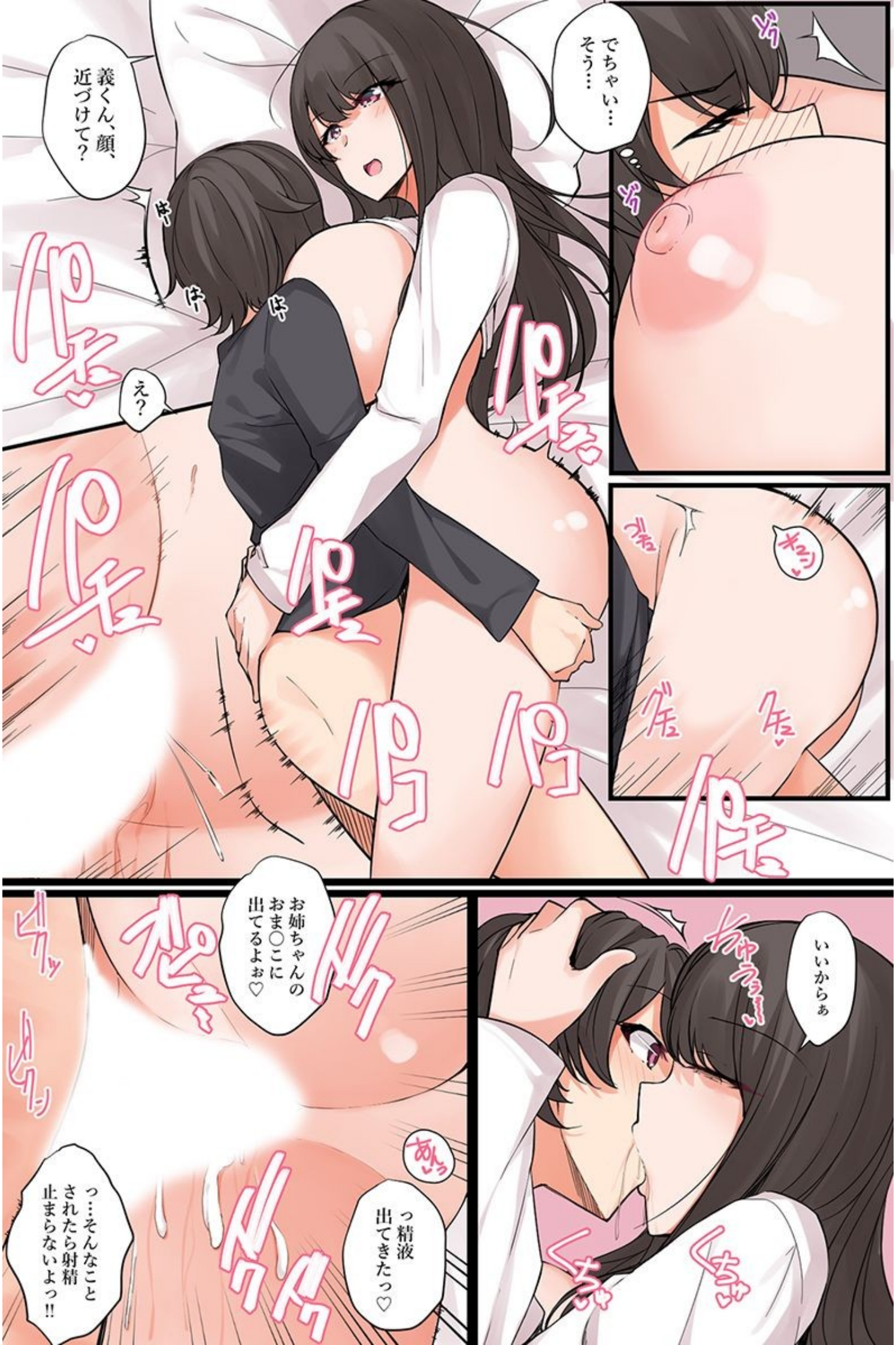

寝てる間に…
セッ○スしてる、
っなんて…
んっ
ずるいっ…て
んあっ
にゅぷぷ♡
パンッ
パンッ
ズポッ
ズポッ
キュン♡
グチュ
グチュ
あんっ
んっ
パンッ
パチュ
パンッ
するなら…っ
一言…
いってよねー
ごめんなさん。
綾乃さんっ
パン!
パン!
パン!
はー
はー
はー
はー
はー
はー


ちゃんと
中に出してね♡
パン
パン
パン
パン
ズン
ズン
ズン
ズン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビュー
ビュー
ビュー


次っ。
お姉ちゃんに
もう一回…
入れて欲しいな♡
お姉ちゃんっ。
…入れちゃうね
プリュ
いいよ。
きてっ
ん？
なぁに？
義くんっ
はぁ
はぁ
はぁ
お姉ちゃっ…
お姉ちゃんっ！
お姉ちゃん！
はぁ
パン
パン
パン
プルン
ズポッ
ズポッ
ズポッ


あんっ
はぁ
はぁ
めちゃくちゃきもちいい…
んっ
んっ
あん
お姉ちゃんの下のお口っ……
ぬぷぷぷ～
オチ
オグ
パン
オチ
オチ
オチ
パチ


下のお口がどうしたの？
ん？
…すごく、えっちで…ぬるぬるしてる…
パコッ
パチン
パコッ
パチ


でちゃい…
そう…
義くん、顔、近づけて？
は
は
は
え？
ズク
ズク
キュン
グチュ
グチュ
パン
パン
パン
パン
パン
いいからぁ
ちゅうぅ
くちゅ
くちゅ
お姉ちゃんのおま○こに出てるよぉ♡
ビクッ
ビクン
あんっ
っ精液出てきたっ♡
っ…そんなことされたら射精止まらないよっ!!


ぬるぅ
ぽぽっ
…よくできました、義くん。明日からも頑張ろうねぇ…
はー
はー
はー
ちゅ
どろー
私の体を好きに使っていいのは義くんだけだよ。
全部、義くんのしたい事、私たちが受け止めてあげるからね。
うん。お姉ちゃん、綾乃さん、


大好きだよっ。